

官報

號外 昭和十六年二月十六日

○第七十六回 貴族院議事速記録第十四號

昭和十六年二月十五日(土曜日)午前十時八分開議

議事日程 第十四號

昭和十六年二月十五日

午前十時開議

第一 昭和十六年度歳入歳出總豫算案

並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算案 會議(委員長報告)

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契

約ヲ爲スヲ要スル件 會議(委員長報告)

第三 昭和十五年度歳入歳出總豫算案

加案(第一號) 會議(委員長報告)

第四 昭和十五年度特別會計歳入歳出

豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)

第五 臨時軍事費豫算追加案(臨時第一

號) 會議(委員長報告)

第六 昭和十六年度一般會計歳入ノ財

源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案(政府提出、衆議院送付)

第七 昭和十五年法律第七號中改正法

律案(政府提出、衆議院送付)

第八 昭和十三年法律第二十三號中改

正法律案(政府提出、衆議院送付)

第九 朝鮮事業公債法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付)

第十 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正

法律案(政府提出、衆議院送付)

第十一 臺灣事業公債法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付)

第十二 昭和十四年度歳入歳出總決算

算報告 會議(委員長報告)

第十三 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十四 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十五 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十六 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十七 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十八 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第十九 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十一 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十二 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十三 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十四 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十五 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十六 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十七 昭和十四年度國有財産増減總

算報告 會議(委員長報告)

第二十八 昭和十四年度國有財産増減總

同日日本發送電株式會社法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君

副委員長 男爵安場 保健君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十

六年度各特別會計歳入歳出豫算案、豫算

外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要

スル件、昭和十五年歳入歳出總豫算追

加案(第一號)、昭和十五年度特別會計歳

入歳出豫算追加案(特第一號)、臨時軍事

費豫算追加案(臨時第二號)可決報告書

昭和十六年度一般會計歳入ノ財源ニ充ツ

ル爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

昭和十五年法律第七號中改正法律案可決

報告書

昭和十三年法律第三十三號中改正法律案

可決報告書

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告

書

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案可

決報告書

臺灣事業公債法中改正法律案可決報告書

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會

議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付御諮リ致シタ

ウゴザイマス、市來乙彦君、旅行ニ付十日

間、請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致

シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 昨十四日坂野鉄

次郎君ヨリ病氣ニ付日本發送電株式會社法

中改正法律案特別委員會ヲ辭任致シタ旨申

出ガゴザイマシタ、又本日子爵三島通陽君、

都合ニ依リ帝都高速度交通營團法案特別委

員ヲ辭任シタ旨申出ガゴザイマシタ、

何レモ許可ヲ致シテ御異議ハゴザイマセヌ

カ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス、就キマシテハ、坂野君ノ補闕ト致

シマシテ小坂順造君ヲ、三島子爵ノ補闕ト

シテ子爵會我祐邦君ヲ指名致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一、昭和

十六年度歳入歳出總豫算案、並昭和十六年

度各特別會計歳入歳出豫算案、日程第二、

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ

要スル件、日程第三、昭和十五年歳入歳

出總豫算追加案第一號、日程第四、昭和十

五年度特別會計歳入歳出豫算追加案特第一

號、日程第五、臨時軍事費豫算追加案臨時

第二號、會議、委員長報告、是等ノ各案ヲ一

括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマ

セヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス、豫算委員長井上子爵

ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照

ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ

一 昭和十六年度歳入歳出總豫算案

一 昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算

案

一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件

一 昭和十五年歳入歳出總豫算追加案

(第一號)

一二九

一昭和十五年度特別會計歲入歲出總算案
加案(特第一號)

一臨時軍事費豫算追加案(臨時第二號)
右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審查シ總
ト議決セリ依テ及報告候也
昭和十六年二月十四日

委員長 子爵井上匡四郎

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔子爵井上匡四郎君演壇ニ登ル〕

○子爵井上匡四郎君 只今議題トナリマシ
タ昭和十六年度歲入歲出總算案外五案
ニ付キマシテ、豫算委員會ニ於ケル審查
ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、昭
和十六年度歲入歲出總算案、昭和十六
年度各特別會計歲入歲出總算案及豫算外
庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
ノ三案ニ付キマシテハ、既ニ過日、本議場
ニ於キマシテ大藏大臣ヨリ詳細ニ御説明ガ
アリマシタカラ、此ノ際之ヲ省略シマシ
テ、昭和十五年度歲入歲出總算案追加案第
一號、昭和十五年度特別會計歲入歲出豫算
追加案第一號及臨時軍事費豫算追加案臨
第二號ノ三案ニ付キマシテ政府ノ説明ノ要
旨ヲ申上ゲマス、昭和十五年度歲入歲出
總算案追加第一號ニ計上スル所ノ歲出追加
額ハ、臨時部千十餘萬圓デアリマシテ、其
ノ財源ハ、昭和十五年度歲出豫算ノ節約ニ
依リテ生ズル歲入超過額ノ中ヨリ充當スル
トノコトデアリマシテ、其ノ經費ノ中、主
ナルモノトシテハ、第一ハ農林省所管ニ屬
スル農產資源開發ニ關スル經費ノ増加二百
四十萬餘圓デ、是ハ現下ニ於ケル食糧及被
服原料ノ供給事情ニ鑑ミ、各地方ニ於ケル
桑園ノ整理ヲ行ヒ、食糧農產物及麻類ノ増

殖ヲ圖ラウトスルモノデアリマス、第二ハ
同ジク農林省所管ニ屬スル重要農產物増產
ノ爲ニスル耕地事業助成ニ要スル經費ノ増
加五百二十餘萬圓デ、是ハ米穀増產ノ目的
ヲ以テ、桑園開田其ノ他水田造成、暗渠排
水工事等ニ關スル事業ヲ助成促進シヨウト
スルモノデ、第三ハ同ジク農林省所管ニ屬
スル九州地方其ノ他風水害復舊施設ニ要ス
ル經費百九十餘萬圓デ、是ハ昭和十五年ノ
夏及秋ニ於ケル暴風雨ニ依リ、九州地方
其ノ他ニ於キマシテ、耕地林地等ニ甚大ナ
ル被害ノ爲、其ノ復舊ヲ圖ラウトスルモノ
デ、第四ハ外務省所管ニ屬スル日獨混合專
門委員會ニ要スル經費十餘萬圓デ、是ハ日
本國「ドイツ」國及「イタリ」國間三國條約
第四條ノ規定ニ依リ設置セラル、混合專門
委員會ニ要スル經費トナツテ居リマス、昭和
十五年度特別會計歲入歲出豫算追加案第一
號ハ、公債金特別會計ニ屬スルモノデアリ
マシテ、過日本院ニ於テ議決致シマシタ臨
時軍事費豫算追加案第一號ノ財源タル支那
事變公債ノ發行ニ關スルモノデアリマス、
次ニ臨時軍事費豫算追加案第二號ニ計上ス
ル所ノ金額ハ、歲入歲出共々、四十八億八千
萬圓デアリマシテ、是ハ臨時第一號ニ引續キ
必要ナル作戰部隊維持等ノ維持費、其ノ他
事變關係ノ諸經費竝ニ其ノ財源ヲ追加計上
致サレタモノデアリマシテ、其ノ歲出豫算ノ内
譯ハ、第三項豫備費七億八千萬圓、第四項臨
時軍事費四十一億圓ト相成ツテ居リマス、而
シテ其ノ財源ノ大部分ハ、從來ト同様之ヲ
公債ニ依ルモノデアリマシテ、公債及繰替借
入金トシテ三十九億七千七百餘萬圓ヲ計上
サレデアリマス、公債金以外ノ歲入ハ九億
二百餘萬圓デ、其ノ内譯ハ一般會計ヨリノ

繰入金、六億七千萬圓、各特別會計ヨリノ
繰入金、二億一千百餘萬圓、特別會計ヨ
リノ北支事件費財源受入、八百餘萬圓、
其ノ他九百餘萬圓トナツテ居ルノデアリ
マス、右ノ内、一般會計ヨリノ繰入金ハ、
昭和十三年度以降ノ稅制改正ニ基テ增收額
ト、昭和十三年一月以降ノ煙草値上其ノ他
ニ依ル專賣益金ノ増加額トノ合計額ノ一部
ヲ繰入レルノデアルトノコトデアリマス、
各特別會計ヨリノ繰入金ノ内譯ハ、關東局
ニ於テ二千三百餘萬圓、通信事業ニ於テ二
千萬圓、帝國鐵道ニ於テ六千萬圓、朝鮮總
督府ニ於テ八千三百餘萬圓、臺灣總督府ニ
於テ二千三百餘萬圓、樺太廳ニ於テ一千餘
萬圓トナツテ居リマシテ、是ハ右ノ各特別會計
ニ於ケル昭和十三年度以降ノ稅制改正、又
ハ煙草値上ニ伴フ增收額ノ一部等ヲ繰入レ
ルモノデアルトノ政府ノ説明デアリマス、
又特別會計ヨリノ北支事件費財源受入ハ、
關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳
ノ各特別會計ニ於ケル北支事件特別稅收入
ノ、昭和十四年度決算上ノ增收額ヲ繰入レ
ルモノデ、其ノ他ハ物品拂下代、家畜拂下
代等ノ收入ヲ、最近ノ實額ニ基キ計上致シ
タトノコトデアリマス、本案ニ計上致サレ
マシタ金額ヲ、既ニ成立致シテ居リマスル
臨時軍事費豫算額ニ加ヘマスレバ、其ノ總
額ハ歲入、二百二十三億七千七百餘萬圓、歲
出、二百二十三億三千五百餘萬圓トナル次
第デアリマス、臨時軍事費豫算ハ、事件ノ
終局迄一會計年度トスルモノデアリマシ
テ、通常ノ年度區分ノ無イコトハ申上ゲル
迄モナイコトデアリマスガ、曩ニ議決致シ
マシタ臨時第一號ハ、本年三月頃迄ノ所要額
ヲ計上致シタモノデアリマスルカラ、假ニ

之ヲ昭和十五年度所屬分トシ、今回ノ臨時
第二號計上額ヲ以テ昭和十六年度所屬分ト
看做シマシテ、之ヲ昭和十六年度歲入歲出總
算案ノ金額、歲入歲出共々、六十八億六千
三百餘萬圓ニ加ヘマスレバ、歲入歲出共々
レゾレ百十七億四千三百餘萬圓トナリ、是
ヨリ一般會計及臨時軍事費特別會計間ノ通
リ拔ケ勘定トナツテ居リマスル一般會計ヨ
リ臨時軍事費特別會計ヘノ繰入額六億七千
餘萬圓ヲ控除致シマスレバ、百十億七千三百
餘萬圓ト相成ルノデアリマス、又本案ニ於
ケル公債發行豫定額ニ、右昭和十六年度歲
入歲出總算案及同各特別會計歲入歲出豫
算案ニ於ケル分ヲ加算致シマス、昭和十六
年度ニ於ケル公債發行豫定額ハ只今迄ノ所
六十三億七千三百餘萬圓デアリマシテ、之
ヲ先ノ臨時第一號ヲ含メタ昨年豫算ニ於ケル
公債發行豫定額ニ比較シマスルト、六億五
千餘萬圓ノ減少ト云フコトニ相成ル次第デ
ザリマス、豫算委員會ハ、衆議院ヨリ豫
算受領ノ翌日即チ二月三日開會致シ、先ヅ
例年ノ例ニ倣ヒ、分科ニ移ス迄ノ委員會ノ
會議ノ日數ヲ三日ヨリ十三日迄即チ十一日
間、分科會ヲ十四日ヨリ二十日迄即チ七日
間、分科終了後ノ委員會ヲ二月二十一日ヨ
リ二十二日ノ二日間ト決定致シ、審議ヲ開
始致シマシタ、然ル處委員各位ハ時局ノ重
大性ヲ深く認識セラレ、精勵自肅且亦毎日
長時間審議ヲ繼續セラレマシタ結果トシテ、
分科ニ移ス迄ノ委員會ハ八日ヲ以テ終了シ、
九日ヨリ分科ニ移シ、各分科會ハ十三日終
了シ、昨十四日分科後ノ委員會ヲ開會シ、
各分科主査ノ報告ヲ終ヘ、討論ニ入り、
討論終結後直チニ採決シ、全會一致ヲ以テ
豫算案全部ヲ可決致シマシタ、今委員會ニ

於ケル審査ノ經過並ニ結果ノ概要ヲ御報告
申上デマス、前ニ申上デマシタ如ク、委員
各位ハ極メテ熱誠ナル態度ヲ以テ、最モ眞
剣ニ質疑ヲ繼續セラレマシタ、從テ其ノ質
疑ノ内容モ、事荷モ外聞ヲ好マシカラズト
思考セラハ、モノハ、總テ秘密會若シクハ
筆記ノ中止ヲ要求セラレマシタ、本會議中
特ニ秘密會ノ多カリシコトモ此ノ事由ニ依
ルモノト思考致サレマス、政府モ亦總理首
メ各國務大臣ハ、委員ノ質疑ニ對シ、丁寧
ニ答辯セラレマシタ、全會ヲ通ジマシテ、
質疑ノ大部分ガ大政翼贊會ニ集中セラレマ
シタ觀ガアリマシタ、各質疑者ハ種々ノ
觀點ヨリ此ノ問題ニ觸レラレタノデアリ
マス、第一ニ大政翼贊會ノ性格ニ對スル質
疑デアリマス、總理大臣ハ翼贊會ハ自ラ
政策ヲ樹ツルモノデハナイ、自ラ獨自ノ政
策ヲ以テ行動スル所謂政黨トハ違フ、政策
ヲ樹テルモノハ政府デアアル、此ノ政府ノ政
策ニ協力シ又政府ノ政策ヲ國民ニ徹底セシ
ムルト云フノガ翼贊會ノ使命デアアル、實ハ
翼贊會成立ノ當時ニ、翼贊會ノ綱領若シク
ハ政策ヲ作ルト云フ話ガアリマシタ時ニモ、
自分ハ翼贊會ノ性質トシテ、翼贊會ノ性質
ハ斯カルモノデハナイ、翼贊會ニ綱領モ政
策モ要ラナイ、強ヒテ綱領ヲ作ルナラバ臣
道實踐ノ一語ヲ以テ足ルト最初ニ申シタノ
デアアル、翼贊會ガ政策ヲ樹ツルト云フコト
ハ決シテアリマセスト言明セラレマシタ、
次ニ質疑者ハ、翼贊會ト憲法トノ關係ニ付
テノ質疑デアリマシテ、同會ノ組織ハ未ダ
完成ニ至ラヌヤウデアアルガ、其ノ計畫ノ最
初カラ非常ナ大規模ノ計畫デアリ、所謂國
民再組織、昭和維新ノ實行ヲ標榜シテ出來
タ、是ガ生マレ出ツル迄ノ勢ハ、其ノ形ガ現

レル前ニ、五十年ノ歴史ヲ有スル各政黨ハ
其ノ聲ヲ聞イタダケテ解消シタ、之ガ完成
ノ曉ニハ、軍部ヲ除ク政府ノ何レノ機關ヨ
リモ大ナルモノト考ヘラレル、斯クノ如キ
大規模ノモノガ我が憲法治下ニ於テ、何等法
制上ノ根據ナクジテ生マレ出デルト云フコ
トハ、單ナル常識デサヘモ之ヲ許サナイ、憲法
第四條「天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總
攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ」、此ノ
第四條ハ憲法政治ノ根本精神ヲ規定セラレ
タモノデアッテ、畏クモ 天皇陛下御自身ト
雖モ、憲法ノ條規ニ從ハナケレバ統治權ノ
行使ハシナイゾト仰セラレテ居ルノデアアル、
又此ノ意味ハ絕對ノモノデアルト自分ハ考ヘ
ル、然ルニ大政翼贊會ハ憲法法令何等基ク
所ナク、斯クノ如キモノガ許サレルモノデア
ルト云フコトハ了解出來ナイ、之ニ對シ今日
迄政府ノ爲サレタ答辯ハ二ツアル第一ハ、
大政翼贊會ノ目的トスル大政ト、憲法ニ基
ク統治權或ハ大政トハ、少シ違フノデアアル、
天皇ノ行ハセラル、大政ハ其ノ範圍ガ廣イ、
其ノ中ノ主ナル部分ハ統治權トシテノ憲法
ノ規定ニ依ルベキモノデアアルガ、此ノ以外
ニ於テモ尙 天皇ノ行ハセラルベキ範圍ガ
アル、大政翼贊會ハ其ノ部分ノミニ關スル
モノデアアルカラ差支ナイ、即チ 天皇ノ大
御業ト憲法上ノ 天皇ノ統治權トノ間ニ
ハ、範圍ノ差ガアルヤウニ説明サレテ居ル、
第二ノ説明ハ、憲法上ノ統治權ト云フモノ
ハ、是ハ上カラ統治權ヲ行フ場合ヲ言フノ
デ、ソレハ憲法ノ條規ニ依ラネバナライ、
其ノ統治權ヲ受ケル臣民ノ方ヨリ盛リ上ッ
テ來ル翼贊行爲ハ、憲法上ノ統治權ノ中ニ
ハ入ラナイト云フ説明デアアル、併シ之ニ對
シテハ、他ノ機會ニ於テ、政府ハ、帝國議會

ハ上意下達、下意上達ノ憲法上ノ機關デア
ルコトヲ認メラレテ居ル、而シテ大政翼贊
會ハ此ノ帝國議會ノ作用ヲ補充スルト云フ
意味ニ於テ行ハレルモノデアルト申サレテ
居ル、ト云フ前提ヲ以テ、第一、大政翼贊
會ノ所謂大政ト憲法上ノ統治權トノ關係如
何、全ク同一ナリヤ、又ハ其ノ範圍ニ差異
アリヤ、前者ハ後者ヲ包含スルモノナリヤ、
第二、ソレガ同一ノモノデアリ、若シクハ
大政ハ統治權ヲ包含スルモノトスレバ、大
政翼贊會ノ如キ機關ノ設立ハ憲法上差支ナ
キヤ、此ノ質疑ニ對シ、總理大臣ヨリ左ノ
意味ノ御答辯ガアリマシタ、 天皇ノ大御
業ト統治權トハ先ヅ同一ノ範圍ノモノト思
フ、是ハ臣民ノ側ヨリ申セバ萬民翼贊トナ
ル、我が國ハ古來ヨリ萬民ガ 天皇ノ御政治
ヲ翼贊シ奉ル國柄デアアル、而シテ 明治天皇
ノ下シ給ヒタル欽定憲法ニ依ル輔弼トカ
翼贊トカ云フモノハ、臣民翼贊ノ最モ重要ナ
途デアアル、即チ法律上ノモノデアアル、此ノ法
律上ノモノノ外ニ、臣道實踐ノ實ヲ舉ゲル
途ヲ開キ、此ノ運動ノ推進中核體トシテ大
政翼贊會ヲ作り、此ノ運動ヲ推進スルコト
ハ憲法ノ精神ニ副フモノデアアル、而シテ之
ガ爲ニ憲法上ノ機關ノ行フ大政翼贊ト云フ
コトノ政治的ノ責任ガ、政治的ノ以外ノ他ノ
機關ニ移ツタト云フコトハ絕對ニナイ、大政
翼贊ニハ、憲法上ノ機關ニ依ル大政翼贊ト
一般ノ翼贊トノ二ツガアルト解釋シテ居ル、
明治天皇ノ聖旨ニ依リ大政翼贊ト云フモ
ノガ憲法上認メラレタカラト云ッテ、一般ノ
大政翼贊ガ禁止サレタリトハ認メナイト云
フ御答辯デアリマシタ、是ニ對シ質疑者ハ
再ビ、憲法上ノ翼贊機關ノ外ニ或組織ヲ設
ケ、是ハ大政翼贊ナリト稱シテ、統治權行使

ニ關與スルコトハ認メナイト云フコトガ憲
法ノ趣旨デアルト信ズル、然ラザレバ憲法
政治ノ治安維持ハ出來ナイ、議會ノ權能ヲ
冒スモノデナケレバ自由ニ翼贊機關ヲ作り
差支ナイノカト思フノカト再質問セラレマ
シタ、總理ハ是ニ對シ、此ノ問題ハ翼贊會
ノ運用如何ニ依ッテ決定スベキ問題デ、翼贊
會ノ本來ノ使命目的ハ既ニハッキリ決ッテ居
ル、憲法ニ違反スルモノデハナイト信ズル、
唯其ノ目的的使命ヨリ逸脱スルガ如キ行爲ハ
之ヲ戒メ、且組織ノ運用ニ付改善スベキ點
ハ少カラズト思フ故ニ、是ハ十分工夫ヲ凝
ラシテ改善シタイ、而シテ質疑者ハ、大政
翼贊會ノ使命内容ニ其ノ質疑ヲ進メラレテ、
大政翼贊會ノ使命トシテ、政府ハ上意下達、
下意上達ノ機關デアルト説明セラレテ居ル
ガ、其ノ機構中ニハ政策局、企画局等ガア
リ、又先般臨時中央協力會議ノ席上ニ於ケ
ル同局長等ノ説明ヲ見テモ、單純ナル傳達
機關デハナク、政策計畫ヲ樹立シ、政府ニ
協力ノ意味ヲ以テ其ノ實現ヲ努ムルコトガ
重要ナル仕事トナッテ居ル、又政府ノ政策ニ
對シテ、必要ナル場合ハ國民ニ宣傳ヲシ之ヲ
實行ニ移サセルコトガ其ノ任務デアアル、故
ニ政治力ノ有無、政治性ノ強弱ト云フコト
ガ問題ニナッテ居ル、而シテソレハ大政翼贊
會ノ機構、人的組織ニ依ッテ事實上決ル問題
デアアル、是ハ恐ルベキ結果ヲ生ズル、遂ニ
ハ所謂幕府的存在ヲ來スノデハナイカト
云フ意味ハ質疑デアリマシタ、是ニ對シ總
理ハ、政策ヲ樹ツルモノハ政府デアッテ翼贊
會ハ從デアアル、翼贊會ハ政府ニ協力シテ行
クト云フ根本ノ考デアアル、翼贊會ノ成立當
時ニハ、強力ナル政治力ヲ結合シテ之ガ政
策ヲ樹テ政府ヲ指導シテ行ク、ト云フヤウ

ナ考ノ人モアツタヤウデアルガ、自分ハ全ク逆デアッテ、新體制準備委員會ニ於テ當時聲明セルガ如ク、是ハ一國一黨トナリ國體ニ照シ憲法政治ノ運用上カラモ由々シキコトデアルト詳述シタ、從ッテ翼賛會ニハ綱領ノ必要ナシ、強ヒテ求ムレバ臣道實踐ノ一語ニ盡キルノデアル、飽ク迄政府ノ政策ヲ徹底セシムル、又政府ノ參考ノ爲種々ノ意見ヲ進言スル機關デアアル、且又翼賛會ノ組織ガ此ノ目的ニ副ハザルモノハ、成ルベク早ク適當ナル機會ニ改革ヲ行ヒ、其ノ目的使命ニ副フヤウニ努力スル、ト云フ再ビ御言明ガアリマシタ、次ノ質疑ハ、内務大臣ノ大政翼賛會ガ政事結社ニアラズト云フ理由ハ、上意下達ニ付テハ之ヲ認メルガ、下意上達ノ場合ニ於テ、單ニ民間ノ意見事情ヲ上ニ取次グデアレバ是ハ正シク政事デハナイト、併シ民間ニ斯クノ如キ事情意見若シクハ不滿ガアル故ニ、政府ハ斯クノ如キ政策ヲ樹ツベキモノデアルト上達スルコトハ、是ハ明カニ政事ニ關係スルモノデアルト思フガ如何、之ニ對シ内務大臣ノ御答辯ハ、下意上達ハ極メテ輕イ意味デ、實際ノ事實、現今ノ社會情勢ハ斯ウデアアル、之ニ依レバ政府トシテハ斯ウ云フ政策ヲ執ルノガ至當デアルト云フ位ノ意見ヲ樹テテ、政府ノ參考ニ供スルト云フ位ノコトハ差支ナイ、唯之ニ依ッテ活動シタナラバ政治結社トナル、コ、ノ區別ハ微妙ナ區別ニナルカモ知レナイ、或ハ抽象的ニ之ヲ論ズルコトハムツカシイカトモ思フ、個々ノ場合ニ依ッテ決セラルベキ問題デアルト思フ、質疑者ハ、併シ翼賛會ノ實際ノ組織ヨリ見レバ、非常ニ強イモノデ單ナル傳達機關ニ止マラナイ、又翼賛會ニ關係スル人

達ハ、頻リニ高等ノ勢力ト云フコトヲ言ウテ居ル、政府ガ如何ニ辨明サレテモ、實際ハ政事ニ關係スルヤウナ仕組ニナッテ居ルノヲ心配スルト述べ、政府ニ深甚ノ注意ヲ拂ハレムコトヲ切望セラレタノデアリマス、次ニ大政翼賛會ハ政事結社ナリヤ否ヤハ、治安警察法第一條ハ政事ニ關スル結社、第二條ハ政事ニ關スル公衆ヲ會同スル云々ト、同ジ政事ニ關スルト云フ言葉ヲ使用シ、其ノ政見ガ獨自ナリヤ否ヤハ何モ明示シテ居ラナイガ、政府ノ解釋ハ、飽ク迄大政翼賛會ハ自カラ政策ヲ樹テルモノデナイ、唯政府ノ參考ニ供スルモノデアアル、又政府ノ政策ヲ下達スルモノデ、獨自ノ政策政見ヲ持ツモノデナイカラ、治安警察法ノ適用ヲ受クベキモノデナイト主張デアアルガ、質疑者ハ、法律ハ唯政事ニ關スルト云フ文字ヲ使用シテ居ルノニ、此ノ間ニ、其ノ政見ガ獨自ナリヤ否ヤヲ區別スル微妙ナル解釋ニハ同意シ兼ネルト主張セラレマシタ、且又或結社ガ或政黨ノ政見ヲ宣傳スル場合ニハ、其ノ結社ハ獨自ノ政見ヲ持タザルカ如何トノ質問ニ對シマシテハ、其ノ政黨ハ獨自ノ政見ヲ持ッテ活動スルモノデアアル、之ヲ助クルモノハ政黨ト同様ノ目的ヲ持ッテ居ル、故ニ政事結社デアルトノ見解ヲ答辯セラレマシタ、次ノ質疑ハ、政事非政事ノ區別ヲ明確ニスルコトハ、廣ク言論出版、集會、結社等ノ事項ニ關聯シ、敢テ治安警察法ノ集會結社ノミデナイ、學問上ノ通説ハ、現代ノ政治ニ影響ヲ及ス目的ヲ以テスルモノヲ政事ト謂フコトニ解釋サレテ居ル、其ノ目的、效果ノ善惡ハ問フ所デハナイ、故ニ現代ノ政府ニ反對シ倒壞ヲ目的トスル場合デモ、又ハ之ヲ支持シ宣傳シ

又ハ其ノ政策ヲ實現セシムル爲ニ必要ナル材料ヲ調査研究シ、政府ニ進言スル場合デモ、要スルニ現代ノ政治ニ何カノ影響ヲ及シタイト云フ目的ヲ以テナスモノデアアルカラ苟モ目的アル以上、總テ治安警察法等ニ謂フ政事ニ關スルモノト見ナケレバナラス、是ガ政事ニ關スルト云フ解釋デアルト信ズル、之ニ對シ、内務大臣ノ御答辯ニアラ獨自ノ政策ヲ以テ其ノ實現ニ向ッテ進ムモノデ始メテ治安警察法ノ政事結社デアアル、單ニ政府ノ意見又ハ政策ヲ宣傳スルモノハ政治結社ニ非ズト答辯デアッタガ、法律ハ單ニ政事ニ關スルト云フ廣キ意味ノ文字ヲ使ッテ居ルノニ、内務大臣ノ答辯ノ如キ巧妙ナル區別ガ、此ノ文字ノ中ニドウシテ含マレテ居ルト云フコトガ考ヘラレマセウ、質疑者ハ、法律上ノ常識ヲ以テ考フルコトハ出來ナイト主張サレ、然ラバ政府黨ハ政事結社ニ非ザルカ、又大政翼賛會ハ政治性ヲ有スルト言フガ、是ハ即チ政事ニ關スルト云フ外ナラズト述べ、政事ニ關スルト云フ文字ノ法律上ノ解釋ヲ法制局長官ニ要求セラレマシタ、法制局長官ハ治安警察法ノ政事上ノ結社ト云フノハ、質疑者ノ説ノ如ク、政治ニ影響ヲ及ス目的ヲ以テ設ケラレタル結社デアアル、大政翼賛會ノ場合ハ、特定ノ政府ノ政策ヲ支持スルニ非ズシテ、如何ナル政府ガ出テ來テモ常ニ抽象的ニ政府ト表裏一體ノ關係ニナッテ、其ノ政府ノ政策ヲ宣傳スル、其ノ場合獨自ノ意見見解ハ存在シナイ、是レ政黨ノ與黨ノ場合トハ本質的ニ違ッテ居ル、廣イ意味ニ於ケル如何ナル政府デモ、抽象的ニ考ヘララル如何ナル政府ニ對シテモ、之ヲ補助スルモノデアルト云フ意味デアルト答辯セラレマシタ、此ノ

問題ニ對シテ、大政翼賛會ニ於テハ、衆議院議員ノ選舉法及ビ貴族院令ノ改正等ニ付成案ヲ以テ、政府ノ政策ヲ樹ツルコトニ協力スルト云フ意味ニ於テ、政府ニ提出セラレタ事實ガアル、是ハ現代ノ政治ニ影響ヲ及ス目的ヲ以テナシタル行爲ト見ルヤ否ヤ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、大政翼賛會ガ政策ヲ政府ニ進言スルコトハ本體ノ仕事デハナイガ、斯クノ如キコトモアリ得ルト思フ、併シ是ハ其ノ主張ヲ貫徹スルト云フ意味デハナク、唯參考ニ供スルニ止マル、此ノ意味ニ於テ少數意見、多數意見、第一案、第二案トシテ提出サレ、一定ノ意見ヲ定メ之ヲ政府ニ強要スルト云フ如キコトハナイ、參考ニ供スルニ止マル、是ハ政治ニ影響ヲ及ス行爲トハ認メナイ、質疑者ハ再ビ、大政翼賛會ヨリ進言スル意見ガ、二三ノ意見ヲ列ベテ參考ニ供スルト言フガ、現行法ヲ改正スルト云フコトニハ一致シテ居ル、然ラバ問題ハ、現在ノ政治ニ影響ヲ及ス行爲ト云フノハ、強要スルカ否ヤニアルト云フ説明ニナルガ、是ハ政黨ト雖モ政府ニ強要スルカハナイ、事實上ノ政黨ノ力ニ依ル、翼賛會モ、客觀的ニ其ノ機構如何ニ依ツテ力ノ強弱ガ決ル、實現ヲ強要スルモノデナイカラ結社ニ非ズトノ説明ハ、承服シ難イト主張セラレマシタ、次ハ大政翼賛會ノ有スル政治性、政治力トハ如何ナルモノデアアルカ、之ヲ強化スル積リナリヤト云フ質疑デアリマス、政黨ノ有スルガ如キ政治力ト云フ意味ニ於ケル政治力ヲ強化スル考ハナイ、併シナガラ從來ノ精勵ヨリモモット實踐力ノアルモノニシナケレバナラズト云フ意味デアアル、政治性トハ、翼賛會ノ使命ヲ達成セシムル爲ニハ上意下達、下意上達ヲ爲サシ

メ、國策樹立遂行ニ付政府ニ協力シ貢獻スル機能ヲ有效ニ發揮セシメネバナラス、其ノ爲ニ翼賛會ノ機構ヲ整備シ、其ノ精神團結ノ強化ヲ圖リ、共ニ強力ナル實踐力ヲ持タネバナラス、此ノ實踐力ヲ發揮スルト云フコトニ於テ、從來ノ精勵ヨリモ一歩進メタモノデアリ、此ノ意味ニ於ケル政治性ヲ言フノデアリ、次ハ大政翼賛會ガ法令ニ基イテ居テナリ關係カラ官公吏ノ資格ガナリ、從テ一般ノ官公吏ニ與ヘラレタル保護ヲ受ケナリト同時ニ、又從テ服從ノ義務ガナリ、從テ是ヨリ起ル種々ノ恐ルベキ結果ヲ指摘セラレ、殊ニ議會局ニ於テ起リ得ベキ想像シ得ベキ弊害ニ付テ詳述セラレ、之ニ對シテ政府ノ所見ヲ質サレマシタ、翼賛會ノ役員ノ服務ニ付テハ、内部ノ紀律ニ關スル規則ヲ設ケルコトニ目下考慮中デアリ、又政府トシテハ此ノ點ニ付テ十分翼賛會ヲ監督スル積リデアルト云フ總理大臣ノ御答辯デアリマシタ、次ハ大政翼賛會ト軍部トノ關係ニ付テハ御質問デアツテ、軍部ハ大政翼賛會ニ大多ノ關心ヲ有セラレルコトハ當然デアリガ、軍部ハ軍部、文官ハ文官ノ職域ガアル、大政翼賛會ガ如何ニシテ一億一心ノ實ヲ舉ゲ得ルカ、如何ニシテ臣道實踐ヲ徹底セシメ得ルカ等ノ方策ニ付テハ、政治家ニ御任せニナツテハ如何カと思フガ、御所見ハドウデアルカ、陸軍大臣ハ、大政翼賛會ノ目的ト軍ノ信條トスル御勸諭ノ御精神ト相副フモノガアル、故ニ之ニ當然關心ヲ持チ、之ヲ支持シテ居ル、而シテ軍ニ屬スル者ガ其ノ職域ヲ明確ニシ、其ノ職域ノ下ニ活動スル點ニ付テハ、勿論其ノ趣旨ニ依ツテ指導シテ居ルト云フ御答辯ガアリ、海軍大臣ヨリモ同様ノ意味ノ御答辯ガアリマシタ、次ノ

質疑者ハ、大政翼賛會ヲ政黨ニセラレテハ如何デアルカト云フ意味ノ御質疑デアリマス、質疑者ハ、大政翼賛會ノ性格ハ總理ノ御言明ニ依リ既ニ明確ニナツテ居ル、本質ノ問題ニ既ニ一掃サレテ居ル、併シ大政翼賛會運動ノ起リシ當時ノ情勢ニ鑑ミテ考ヘテ見マスレバ、國民今尙疑惑ヲ抱キ、我々ガ今尙納得シ得ザル原因ガソコニアルノデアルト述ベラレ、大政翼賛會ノ今日ニ至リシ迄ノ經過ヲ精細ニ述ベラレ、而シテ總理ノ屢ノ言明ニ拘ラズ、會内ニ今尙總理ノ考ト違フ方面ニドシノ動イテ居ル者ガアル、現ニ幹部ノ人ガサウ云フコトヲ言フテ歩イテ居ルト云フ事實ヲ指摘セラレ、質疑者ハ、總理ハ之ヲ政治的ニ動カスマイト思ハレテモ、政治的ニ動ク傾向ハ既ニ非常ニ濃厚デアリ、故ニ此ノ機構ヲ根本的ニ御考ニナル時ニ、寧ロ元ニ還ツテ近衛公ヲ中心トスル新黨ヲ作り、眞ニ日本ノ憲法ニ恪遵シテ政治ヲ行ハルノダト天下有爲ノ人士青年ヲ其ノ傘下ニ糾合シテ新黨ヲ通ジテ國民ニ熱烈ナル意氣ヲ植付ケ、表裏相俟ツテ強力ナル政治ヲ此ノ時局ニ適應スルヤウニヤツテ戴クコトハ出來マイカト云フ質疑デアリマス、總理ハ之ニ對シテ、翼賛會ノ今日ニ至リ迄ノ經緯ニ付テハ御觀察ハ質疑者ノ陳述セラレタ通りデアリ、何分成立後日モナイコトデアルカラ統制ノ行届カザル所モ多イ、此ノ點ニ付テハ一層戒飭ヲ加ヘ、改善スベキハ改善シテ行カウト思フ、政黨樹立ノ問題ハ、自分ハ信念トシテ總理大臣ノ職ニ在ル者ガ政黨ヲ組織スルト云フコトハ宜シクナイト思ツテ居ル、政黨ノ首領ガ大命ヲ拜シタヤウナ場合ハ、其ノ政黨ノ首領ヲ辭スベキデアルト云フ自分ハ

信念ヲ持ツテ居ルト云フ御答辯デアリマス、質疑者ハ、總理ノ信念トシテ新黨樹立ガ容レラレナイナラバ、思ヒ切ツテ大政翼賛會ノ幹部ノ肅正ヲオヤリニナラナケレバナラナイ、意思ノ對立スル人ガ幹部ヲ構成シテ居ル、故ニ國民ハ危懼ノ念ガ益々募ツテ來ル、故ニ總理ノ理念ニ副フヤウニ早く肅正シテ戴キタイ、今改メナケレバ其ノ機會ハナイ、寧ロ逆ニ、政黨運動ガ起ツテ憲法ヲ恪遵シテ行カウト云フ人達ハ排斥セラレ、反對ノ考ノ者ガ力デ會ヲ制スル時機ガ來ル、若シサウ云フ時機ガ到來シタナラバ、ソレコソ憲法擁護ニ立ツ者ト、憲法ノ精神ニ違反シテモ此ノ際ハヤラナケレバナラヌト云フ者トノ間ニ、眞ニツニ分レテ日本ハ爭ハザルヲ得ナイ立場ニナツテ來ル不祥事ノ到來スルコトヲ惧レル、國家ノ爲ニ身ヲ殉ズル覺悟ヲ以テ此ノ難局ニ當ラレ、廓清ヲ斷行セラレムコトヲ祈ルト總理ノ所信ヲ問ハレマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、會内部ノ問題ニ付テハ色々考ヘテ居ル所ガアル、之ガ純化並ニ強化ニ付テハ、出來ルダケ早イ機會ニ實現シタイト考ヘテ居ルトノ御答辯デアリマシタ、其ノ他翼賛會ニ付テハ御質疑ハ重要ナルモノガ多クアリマシタガ、此ノ邊ニ止メマス、次ハ新體制ニ付テハ質疑デアリマス、質疑者ハ、總理ハ新體制ニ付テ、肇國精神ヲ基調トシ日本精神ヲ以テ指導精神トスト言ハレテ居ラレバ、其ノ今日迄ノ法治主義……ソレガ今日迄ノ法治主義トドウ結ビ付クカ、誠ニ新體制ハ肇國精神ヲ基調トシテ、臣道ヲ實踐スルト云フ一語ニ盡キテ居ル、國民ハ從來ノ複雜煩瑣ナル法令ニ迷ウテ居ル際ニ、此ノ素朴ナル簡素ナ日本精神ニ依リ政治ガ行ハレルノダト、非常ニ

新體制ニ望ミシテ居ル、期待ヲ持ツテ居ル、然ルニ出來上ツタ動キハ西洋流ナ翻譯的ナ所ガアル、遂ニ思想的ニ極端ナル批判ヲ下スニ至ツタノハ甚ダ遺憾デアリ、國防國家建設ノ爲ニハ生産擴充ガ政治ノ中心トナツテ居ル、之ガ爲ニハ統制ヲ強化セネバナラス、此ノ強化ガ從前通り法令ヲ以テ一々律スル所謂法治主義ニ進ム、是ハ今日實際國民ノ考ト合ハナイ、國民ノ考ヲ一層惡化スルノミデアリ、然ラバドウスレバ宜イカ、法令ハ根本組織ヲ恪守スルニ止メ、枝葉末節ハ臣道實踐ノ道義ニ基ク、即チ法令上ノ規範ヲ道義上ノ規範ニ置き換ヘルノガ必要デアルト主張セラレ、明治以來ノ我が國思想ノ變革ヲ述ベ、今日、臨時措置法ノ輸出入品ニ關スル法律ガ今日ハ擴大シテ經濟統制ニ及ビ、夥シキ省令ノ數トナリ、是ガ爲ニ檢舉セラレル者多數ニ上リ、又法律ハ朝令暮改トナリ、憲法精神ヲ傷ツケ、到底官民一體トナリ國家ノ要求ヲ充實スルコトハ困難デアリ、今後モ國防國家建設ノ爲ニ必要ナル生産擴充ノ爲益、統制ハ必要ナル、併シ法令ヲ以テ國民ノ全行動ヲ規律スルコトハ出來ルコトデハナイ、故ニ將來ハ法制局ヲ擴大シ、法規ハ之ヲ整備シ、根本ヲ明確ニシ、道義的ニ指導ニ依ツテ、國民ノ全行動ヲ國家ノ目的ニ歸一セシメルコトガ肝要デアリ、換言スレバ國民ノ總テガ公ノ觀念ニ基キ國家ニ奉仕シ、法規ノ命ゼザル所デモ國家本位ニ行動スルヤウニシナケレバ新體制ハ行ハレナイ、新體制ノ趣旨ハ茲ニ在ルト確信スル、國民ハ此ノ心構ヘデ職務上進ム以上、今度ハ上ニ立ツ官吏ハ、此ノ時局ノ爲特別ニ大イナル權限ヲ持ツテ居ルノデアルカラ、大御心ヲ體シテ、皇道

ヲ實踐シ、親心ヲ以テ法規ヲ遂行スル必要
ガアル、宜シク官民一體道義的國家ヲ樹立
スルコトガ必要ナル、法ハ法無キヲ期ス
ト云フヤウナコトヲ理念ト致シマシテ、明
治以來ノ法治主義的ニ來タ統制ノ動キ方
改メル必要ガアルト思フガ如何ト云フ御質
疑アリマス、之ニ對シテ總理大臣ハ、道
義ト法令トノ關係ニ付テハ全ク同感ナル、
臨時措置法ニ依ル省令ニ付テハ、其ノ重要
ナルモノハ閣議ニ付シ慎重ヲ期シテ居ル、
行政機構ノ刷新ニ付テハ只今考慮中ナル
トノ答辯アリマシタ、其ノ他公益優先、
國民ノ最小程度ノ生活保障、社會變革時ニ
起ル共產黨ノ取締等ニ對スル有益ナル御質
疑ガアリマシタガ、是ハ省略致シマス、次
ハ豫算各案ノ提出時期ニ關スル御質疑デア
リマス、議員ハ豫算ノ審議ニ方ッテハ其ノ年
度ノ豫算ノ全貌ヲ知ル必要ガアル、昨年ハ
總豫算ト臨時軍事費豫算トハ同時ニ提出セ
ラレタガ、本年ハ總豫算ハ議會開會ト同時
ニ提出セラレタガ、臨時軍事費豫算ハ二月
一日初メ衆議院ニ提出セラレタ、此ノ遅
レタ理由ハドウ云フ理由ニ依ルカ、又臨時
軍事費ハ年度ガナイモノダカラ、決ッダケ
ヅ、デモ出シテハドウカ、又臨時軍事費ノ
提出ガ遅レルト云フコトハ、第三國ニ對
シ日本ノ財政ガ如何ニモ行詰ツタヤノ感ヲ
與ヘ、惡宣傳ノ材料ニナリ得ルコト云フコ
トヲ惧ル、又近年ノ豫算ハ金ノ豫算ニアラズ
シテ物ノ豫算ナル、故ニ物動計畫ヲ聽
キ、之ニ依ッテ物ノ按配ヲ審查シナケレバ
ナラス、併シ聞ク所ニ依ルト本年度ノ物
動計畫ハマダ確定的ノモノデハナイサウデ
アル、物動ノ確定ト相俟ッテ適正ニ有效ニ
此ノ豫算ヲ使用セラレムコトヲ希望ス、

此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ所見如何ト云フ
御質疑アリマシタ、大藏大臣ハ、總豫算
ト臨時軍事費豫算ト同時ニ出スト云フコ
トハ望マシイ事デアル、政府モ之ニ努力シ
タガ、昨年九月三國同盟締結以來、國際情勢
ノ端倪スベカラザル急激ナル變化ニ依リ、
總豫算ソレ自體ノ決定ガ相當遅レタト云フ
事情デ、臨時軍事費ニ付テハ、計畫中、資
材ノ蒐集中ニ、幾多ノ變化ヲ來シ、遅レ勝
チニナツタト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、臨
時軍事費ハ年度ガナイ故ニ決ッダケヅ、
提出スルコトモ出來ルガ、又審查上其ノ全
貌ヲ示スコトガ都合ガ好イト思ヒ、大體取
總マル迄遅レタノデアル、豫算ノ使用ヲ適
正ナラシムル點ニ付テハ、政府ハ豫算權ヲ
與ヘラレ、バ、各省大臣ハ其ノ豫算權ヲ執
行ノ權能ヲ得ルガ、是ハ直チニ之ヲ支辨シ
得ルカト云フコトニ付テハ或拘束ガアル、
物動計畫ガ確定シタ上デ之ト照シ合セテ、
其ノ物動計畫ノ下ニ實行シ得ルヤウ、大藏
省トシテ其ノ豫算ノ運用ヲ調節シテ行ク途
ハ持ッテ居ル、此ノ邊ハ萬遺憾ナキヲ期スル
積リデアルト、大藏大臣ノ答辯デアリマ
シタ、次ハ文化事業ニ付テハ御質疑デアリ
マス、質疑者ハ、基礎的科學ノ振興ノ必要
ヲ力説セラレ、諸外國ノ事例ヲ詳シク述ベ
ラレテ、我が國ノ施設ノ貧弱ナルコトヲ指
摘セラレ、科學ノ振興ハ高度國防國家建設
ノ一ツノ方法デアル、自給自足、食糧問題、
兵器彈藥等、皆科學ニ關聯スルガ故ニ、臨
時軍事費ト同様ニ、科學ノ振興費ト云フモ
ノヲ考ヘベキデアルト云フ御説デアリマシ
タ、又外國語研究ニ付テ、質疑者ハ、其ノ
重要性ヲ力説セラレ、學校デ、外國語ヲ廢
スルコトヲ以テ日本精神ナルガ如ク考フル

コトハ非常ナル間違デアルトシテ、恰モ牛
ヲ崇拜スル爲ニ牛乳ヲ飲ムノデハナク、雞
ヲ崇拜スル爲ニ卵ヲ食ヘルモノデハナイト
云フ比喩ヲ以テ、外國語ノ必要ヲ示サレタ
ノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ、基礎科
學振興ノ必要ナルコトハ全ク同感デアル、
又外國語ニ對スル御説モ全ク同感デアッテ、
政府ハ決シテ外國語ノ研究ヲ輕視スルモノ
デハナイト云フ御答辯デアリマシタ、又支
那ニ對スル文化事業ニ付キマシテ、支那事
變處理ノ終局ノ目的ハ、日支提携親善ガ最
後ノ目的デアラネバナラス、之ニハ將來事
變處理ガ濟メバ、支那ノ物質的精神的ノ開
發ニ大イニ寄與スル所ガナケレバナラス、
之ニ對シテ今日ヨリ大イニ備ヘネバナラス、
然ルニ今日我が國ガ支那ニ於テ文化方面ニ
於ケル施設ハ、歐米ノソレニ比シ頗ル遜色
ガアルコトヲ詳細ニ述ベラレ、歐米人ノ宗
教上又ハ醫療上ノ施設ヲ詳細ニ陳述セラレ
マシタ、而シテ支那内地ニハ種々ノ傳染病
ガ瀰漫シテ居ル、是等ニ對シテ大規模ノ病氣
研究所ヲ設立スル必要ガアルノデハナイカ、
而シテ支那人ノ福祉増進ニ寄與シ、是等ノ方
面ヨリ提携ヲ圖ルコトガ必要ト思フガ如何、又
米國ノ如キ、黄河ノ治水ヲモ既ニ研究シテ居
ルト云フコトデアルガ、是等ニ付テモ日本ノ
文化技術ヲ以テ、是等ノ禍害ヨリ民衆ヲ救ヒ、
生活ノ向上ヲ圖ラシメル必要ガアラウト思フ
ガ如何、之ニ對シ外務大臣ハ、支那ニ於ケル
教化事業ハ、歐米ハ既ニ百年ニ互ツテ、宗教
特ニ教育上ノ施設ヲナシテ居ル、其ノ學校
ノ數モ、我が國ノソレハ恐ラク百分ノ一ニ
モ達シナイト思フ、併シ又我が國ハ支那ノ
子弟ヲ日本ニ於テ教育スルノ便利ガアル、
又語學、經費ノ點ニ於テ是ハ米國トノ比デ

ハナイ、併シ之ヲ強化スルト云フコトハ、
又經費ヲ伴フ問題デアリ、又教育者ノ數モ
増加セネバナラス故ニ、ナカノ歐米ニハ
追付カナイ、併シ遲延キナガラ最近ハ大イ
ニ進ミツ、アル、又支那ニ於ケル病氣研究
ノ如キモ、奉天ノ南滿醫科大學、大連ノ滿
鐵病院等ニ於テハナカノ進ンデ居ル、政
府ハ對支政策上文化教育ニ非常ニ重キヲ置
イテ居ル、昨年十一月三十日ニ調印セラレ
タ日華基本條約ニ於テモ、政治經濟ト併セ
テ文化ニ關スル規定ヲ了シテ居ル、汪精衛
氏ハ、近衛三原則ニ對シテモウ一原則ヲ加
ヘ、文化教育ノ疏通ニ關シ何等カ協力スベ
キデアルト云フ説ヲ述ベラレテ居ル、又政
府側ノ答辯トシテ、支那ニ於ケル醫學上ノ
研究ハ、必ズシモ財力ノ差ガ、實際ノ活動
生命ノ動キニ關ハナイ、寧ロ逆ニ同仁會病
院ニハ、日本醫學ノ力ガ強ク現レテ居リ、
「ロックフニラー」病院ヨリ高イ力ヲ示シテ
居ル、又根本カラ個人主義思想ニ依ッテ發達
セル歐米文化ハ、殊ニ醫療、衛生問題ニ於
テハ個人ノ大キナ力ヲ發揮サセルニ止マル、
弊國ノ大精神、八紘一字ノ理想ニ動ク文化
力ハ、到底歐米ノ思潮ノ及ブ所デナイト縷々
陳述セラレマシタ、又黄河治水ノ必要ニ付
テハ、外務大臣ハ、支那ノ歴史ハ極端ニ言
ヘバ治水ノ歴史デアル、民衆ノ福祉ハ實ニ
治水ニ歸スル所ガ頗ル多イノデアル、併シ黃
河ノ治水ハ一大事業デアル、米國ノ「ミシ
シッピ」河ノ治水ニ匹敵スベキモノデア
ル、併シ黄河ノ治水ヲ完了シ、支那人口ノ
八割ヲ占ムル農民ヲ救済シ、又農法改善ニ
依リ其ノ產額ヲ五割ニ増スコトモ困難ナラ
ズト思フ、是ハ文化事業トシテノ狙ヒ所デ
アルト答辯セラレマシタ、次ハ計畫經濟ニ

付テノ質問デアリマス、質疑者ハ、今回政府ハ計畫經濟ヲ實行セラレテ居ル、計畫經濟ハ綜合的デアアル、是ハ自然ニ拘ラズ、各人ノ良智良能如何ニ拘ラズ、從來ノ傳習習慣ノ如何ニ拘ラズ、人間ノ力ヲ以テ總テノコトヲシヨウトスル、國家ノ力即チ國家ノ名ヲ以テスル官僚ノ力ニ依ッテ、自然ニ來テ居ルモノヲ變ヘヨウトスルノガ計畫經濟、綜合經濟デアアル、所謂「マルクス」學派ガ是デアアル、國家ノ力ニ依ッテ生産モ配給モ消費モ悉クヤラウトスルデアアル、官吏ノ認定如何ニ依ッテ總テガ決ルデアアル、事業ノ認定モ計畫モ政府デアルデアアル、是デ職業選擇ノ自由ガ人民ニアルデアラウカ、總理ノ演說中ニ、第一、企業ノ自主性ヲ保持シ積極的ナル創意ト努力トヲ十二分ニ盡シテ、各自ノ最大能力ヲ發揮セシムル必要アリト言ハレタガ、此ノ第一ト第三トハ相容レナイ矛盾デアアル、政府ガ總テノモノヲ先行ヒ、命令シ、此ノ通りニシコト、有ラユル方法ヲ決メテ置イテ、何處ニ責任ト創意ガアリマセウカ、又總動員法ニ依ッテ、國家ガ必要トアレバ其ノ事業ヲ取上ゲルコトガ出來ル、ドウシテ經營者ガ安心シテ仕事ガ出來マセウカ、名ハ民有民營デアッテモ、何處ニ創意ヲ差映ム餘地ガアリマセウカ、自分ハ今日ノ如キ限リアル物資ヲ以テ、此ノムツカシイ時局ヲ乗り切ルニハ、ドウシテ人心ヲ解スルコトガ出來ルカ、ドウシテ生産ヲ擴張スルコトガ出來ルカガ我々ニ與ヘラレタル問題デアルト思フ、生産ヲ擴充スルニハ、事業者ノ事業慾ヲ満足セシメテ行カネバナラス、満足セシムルヤウナ仕組ニシナケレバナラス、職場ニ働ク人ニ向ッテ、其ノ能率ヲ擧ゲシムルコトガ一番計腎デアルト思

フ、然ルニ政府ノスル所ヲ見レバ、オ前ノ資本ハ少イカラ増セトカ、オ前ノ方ハ惡イカラ止メト何時言ハレルカ分ラナイ、左様ナコトデ事業慾ヲ満足セシムルコトガ出來マセウカ、職工ニ向ッテモ、政府ガ一々監督シ命令スル、職工ガ工場ニ働ク時分ニ、其ノ企業者ト氣分ガ一致シテ意氣投合シテ、ソコニ言ハレヌ力ガ出ル、職工ト企業家ノ間ガ唯機械的デ何ノ力ガ出マセウカ「ドイツ」ノ例ヲ見ルト、從來動モスレバ計畫經濟ヲ執ラウトシタノヲ「ヒットラー」ハ「ラッパ」計畫經濟ハ人ノ創意ヲ減却スル制度デアルト斷定シ、之ヲ破壊シ、何處迄モ人ノ能力ヲ増サウト云フ風ニ持ッテ行ツタ、利潤ノ如キモ配當ノ如キモ制限シテ居ナイ、「ドイツ」ノ制度ハ自由主義デ、強力ナル「ナチ」ノ統制ニ於テ統制サレテ居ルモノデアアル、日本ノ今回ノ制度ハ「ソ聯」ノ制度ノヤウニ自分ニ思ヘレル、計畫經濟ハ「マルクス」派ガ多年唱ヘ、「ソ聯」ガ實行シテ大失敗シテ居ル、是ハ人類始メ初メテ作ツタ制度デアアル、未經験ノ制度デアアル、非常時ニ萬全ノ確信アルモノデナケレバヤルベキデナイト思フ、是ガ新體制ニ對スル根本ノ疑問デアルト思フ、頗ル悲觀的ノ見地ヨリ政府ニ對シ質疑ヲ致サレタノデアリマス、之ニ對シ政府ハ、計畫經濟ハ決シテ人間ノ力、良知良能ヲ無視スルモノデモナケレバ、又傳統モ總テノモノヲ重シテ行クコトハ勿論デアアル、今日此ノ與ヘラレタ事實ヲ基礎トシテ、國家ノ目的ヲ到達スルニハ、各方面ノ者ガバラ／＼ニ計畫ヲ樹テテハイケナイ、綜合的ニ考ヘテ、全體ヲ常ニ睨ンデ、各方面ノ施設ヲ行フコトヲ計畫經濟ト考ヘテ居ル、又全體ヲ計畫的ニ遂行シテ行クコト云フコトハ、久爾ノ企業

各箇ノ各部門ニ付テ、政府ガ悉ク之ヲ實行スルノダト云フコトモ考ヘテ居ラナイ、成ルベク綜合シテ行クコトハ大綱ニ止メ、經濟全體ガ今日ノ國家ノ目的ヲ達スルヤウニヤッテ行クコトヲ、政府ノ力ノ限度、仕事ノ限度トシ、其ノ範圍ニ於テ各事業ノ自主的ノ統制ニ俟チ、各個人ノ行動若シハ事業ニ付テ、政府ノ樹テタ計畫ニ其ノ儘從テ行クト云フヤウナコトハ、一ツモ考ヘテ居リマセヌ、職業ノ點ニ付テモ原則トシテ自由ヲ認メテ居ルコトハ申ス迄モナイ、併シ今日ノ場合、其ノ必要ナル場合ハ之ニ對シ制限ヲ加ヘテ行クト云フコトモ是亦已ム得ナイト考ヘテ居ル、又今日我が國トシテ生産擴充ヲヤッテ行クニハ、最も有效ニ人ト物トヲ用ヒ、而シテソレニ各人ガ全力ヲ發揮スル爲ニハ、最も必要ナル場所ニ其ノ人ヲ置ク、最も適當ナル人ガ其ノ場所ニ働クト云フ、大體ノ仕組ヲ考ヘルコトガ政府ノ任務ト思ッテ居ル、各企業家ハ自分ノ業ニ自分ノ全力ヲ發揮スルコトガ必要デアルト考ヘル、此ノ趣旨ヲ明カニシタモノガ經濟新體制デアルトノ説明デアリマシタ、其ノ他重點主義ト中小商工業者トノ關係ニ付テ公定價格ノ決メ方、農林省ノ協同組織、經營協同體等ニ對スル質疑應答ガアリマシタガ省略致シマス、其ノ他經濟警察法ニ對シテハ、國民ノ不安ヲ除去スル必要ヲ力説セラレマシタ、政府モ同意ノ意ヲ表セラレマシタ、又生産擴充ニ付テハ、先ヅ官民ノ摩擦、政府部内ノ下剋上、「イデオロギー」論ノ排除、統制ノ行キ過ぎ、官僚獨善ノ害等ヲ先ヅ除去スベキコトガ生産擴充ノ最も手近ナ有效手段デアルト主張セラレテ、之ニ對シテ政府ノ所見ヲ求メラレマシタ、政府モ之ガ

最善ナルヲ認メラレテ居リマス、又現在餘リ低物價政策ニ因ハレ過ギテ居ルガ如何ト云フヤウナ質問モゴザイマシタ、又防空、防火、防諜等保安警察ニ關スル質疑ガゴザイマシタ、最後ニ地下資源ノ開發ニ對スル御質疑ガゴザイマシタ、内地及外地ニ於ケル地下資源ト云フモノハマダ相當存在シテ居ルト思フ、是ガ睡眠礦區トシテ睡眠シテ居ル、之ヲ積極的ニ開發スル必要ガアル、又鐵、石炭ニ對スル對策ノ内容ハ如何デアルカ、金、銅ノ公定價格ヲ引上グル意思ハナイデアラウカ、之ニ對シ政府ハ、昭和十三年三月重要礦物増產法ヲ實施シマシテ、睡眠礦區ノ所有者ニ對シテ事業著手ヲ命令シ、又之ヲ沒收シ得ル所ノ法律ガ規定セラレテ居ルノデ、之ニ依テ睡眠礦區ノ開發ヲ促進シテ居ルデアアル、鐵、石炭ニ對シテハ、政府ノ重要政策中ノ重要ナルモノデアッテ、之ニ對シテハ十分ノ施設ヲ行ッテ居ル、金、銅ノ公定價格ヲ上ゲルト云フ點ニ付キマシテハ、低物價政策ト低價セザル範圍ニ於テ考慮シテ居ル、殊ニ金ノ買入價格ノ變更ハ、圓爲替相場ト直接ノ關係ガアルガ故ニ、引上ゲハ致サヌ方針ガ宜シト考ヘテ居ル、又金鑛山ニ對スル獎勵金ノ下付ノ方法ニ付テハ、モット適切ナルヤウニ之ヲ考慮中デアルトノ御答辯デアリマシタ、其ノ他小學校教員ノ増俸問題、師範學校制度ノ改善問題、私學ノ振興、教育年限ノ短縮シ、二十二三歳ヲ以テ大學教育ヲ終ルヤウニ學制ヲ改革スルノ必要、其ノ他分科會ニ於キマシテモ、多々重要ナル有益ノ質疑應答ガ交ハサレテ居リマシタガ、是ハ餘リ時間ヲ取リマスカラ速記録ニ譲リマス、私ノ報告ヲ終リマスニ臨ミマシテ、豫算委員諸君ガ連日

御精勵下サレマシタコトニ付キマシテ、茲ニ重ネテ感謝ノ意ヲ表シ、私ノ報告ヲ終リタイト思ヒマス(拍手)

○議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ通告ガゴザイマス、有吉忠一君

○有吉忠一君 私人質疑ハ、總理大臣又ハ外務大臣ニ對シテセムトスルモノデアリマス、總理ハ病氣デ御出席ガアリマセス、外務大臣ハ承ル所ニ依レバ、宮中ニ參内シテ居ラレルト云フコトデ、此ノ席ニ見エマセス、從テ私ノ質疑ハ、別ノ機會ニ之ヲ讓リタイト思ヒマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 承テ置キマス、是ヨリ討論ニ移リマス、通告順ニ依リマシテ發言ヲ御許シ致シマス、兒玉伯爵

(伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル)

○伯爵兒玉秀雄君 昭和十六年度豫算各案ニ對シマシテ、委員長報告ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、貴族院ハ、去ル一月二十八日時艱克服ニ關スル決議ニ於キマシテ、政府ニ對シ、東亞安定ニ關シ全力ヲ傾注シテ帝國不動ノ國策ヲ遂行スベキコトヲ要望シ、本院モ亦憲法ノ條章ニ遵ヒ、政府ニ對シ質スベキハ之ヲ質シ、述ブベキハ之ヲ述ベ、全力ヲ擧ゲテ協力スベキノ誠意ヲ表示シタノデアリマス、此ノ趣旨ヲ體シマシテ、豫算委員會ガ短時日ノ間ニ於テ巨額ノ總豫算並ニ軍事豫算ノ審議ヲ了セラレマシタルコトハ、眞ニ戰時贊議會ノ眞價ヲ發揮シ、忠誠公ニ奉ズルノ聖旨ニ副ヒ奉ル所以デアリマシテ、深ク敬意ヲ表セザルヲ得ナイノデアリマス、支那事變發生以來五年ノ星霜ヲ經、其ノ間歐洲戰亂ノ突發ヲ見、世界ヲ舉ゲテ混亂益々ダシク、殊ニ近時英米ノ我が國ニ對スル敵性行爲ハ日ニ露骨

トナリ、危機將ニ一觸即發ノ感ヲ深クスルノデアリマス、此ノ事態ニ即應シテ、政府ハ國家諸般ノ施設ヲシテ更ニ一層戰時體制ニ統合セシメ、財政經濟ノ運用ニ當リマシテハ高度國防國家完遂ヲ目的トシ、之ガ爲ニ軍備ノ充實、生産力ノ擴充、戰時國民經濟ノ維持安定ヲ圖ルコトヲ三大根本方針トシテ豫算ノ編成ニ當ラレマシタルコトハ、誠ニ時宜ニ適シタルモノト云フベキデアリマス、唯我々ハ今後政府ガ協賛ヲ求メラルベキ第三回追加豫算ハ、其ノ金額ニ於キマシテモ、其ノ内容ニ付キマシテモ、時局ニ關シ重大ナル關係事項尠カラザルニ拘ラズ、其ノ追加豫算案ヲ、本豫算ト引キ放チ提案セラル、ガ爲ニ政府ノ非常時對策ノ全貌ニ互リ、綜合的ニ檢討スルノ機會ヲ得ザルヲ遺憾トスルモノデアリマス、三國同盟締結ニ依リ、我が外交方針ハ確立セラレ、日華條約ニ依リ支那事變處理ノ大方針ハ決定セラレタノデアリマス、一面變轉窮マリナキ世界ノ情勢ニ對應シ、他方東亞共榮圈確立ノ國是ヲ遂行スルニハ、國ヲ舉ゲテ國防ノ完備ヲ圖ルコトガ最大急務デアリ、國策ノ根幹デアリマス、政府ガ此ノ點ニ主力ヲ注ギ、戰時財政經濟政策ノ根本方針ヲ定メラレタルコトハ吾人ノ頗ル意ヲ強ウスル所デアリマス、是ト同時ニ、國民モ亦能ク時局ノ重大性ヲ認識シテ、進ンデ國家ノ急ニ應ズル固キ決心ヲ持タナケレバナリマセヌ、我が忠勇ナル將士ガ沉寒酷暑ニ耐ヘ、陸海協同作戰ノ下ニ赫赫タル戰果ヲ擧ゲ、皇軍ノ威武ヲ中外ニ宣揚シタル偉功ヲ憶ヒ、且名譽アル戰病死戰士ノ英靈ニ對シ、深キ哀悼ト感謝ノ念ニ燃ユルノ秋、吾人ハ如何ナル苦痛ヲ忍ブトモ、戰爭有終ノ美ヲ收メ

シムルコトニ時時シテハナラナイノデアリマス、苟モ戰爭ニ要スベキ有ラユル援助ハ、假令此ノ身ノ皮ヲ剥イデモ敢テ惜シムモノデハナイノデアリマス、カルガ故ニ政府ニ於キマシテモ、此ノ悲壯ニシテ純眞ナル國民ノ總意ニ對シ、經費ノ支出ニ當リ、假令一錢一厘タリトモ之ヲ忽カニセズ、有效且適切ナル取扱ヲ要望シテ已マザル次第デアリマス、更ニ又國家ノ總力ヲシテ全能力ヲ發揮セシムニハ、其ノ根本ヲ國民精神ノ昂揚ニ置カナケレバナリマセス、之ガ爲ニハ專ラ力ヲ教育ニ竭スベキハ勿論デアリマス、此ノ緊迫シタル場合ニ於キマシテハ、政府ハ議會ヲ通ジ、廣ク國民ニ對シテ時局ノ真相ヲ明カニシ、正シキ認識ヲ下ニ、國民ヲシテ君國ノ爲ニ眞一ノ身ヲ捧グルノ覺悟ヲ固メシムルコトガ何ヨリ緊要事デアリマス、國民ニシテ此ノ決意ナクンバ、公益優先ノ理想ノ實現ハ愚カナコト、生産ノ擴充モ國民經濟ノ維持安定モ、決シテ求メ得ラル、モノデハアリマセス、國家ノ安危ハ實ニ此ノ一點ニ關ハルノデアリマス、高度國防國家ノ完成ニハ、其ノ根幹ヲ國民經濟力ノ増進ニ置カナケレバナリマセヌ、而シテ戰時狀態ニ於キマシテハ、限ラレタル資材ト限ラレタル能力ト限ラレタル資本トヲ以テ、巨大ナル軍備ノ充實ト、國民生活ノ安定ト生産力擴充ノ無限ノ要求ニ應ジナケレバナリマセス、殊ニ東亞共榮圈ヲ目標トシテ基本國策ヲ樹立セムトスルニ於キマシテハ、勢ヒ從來ノ經濟機構並ニ其ノ運営ニ變更ヲ加フルノ必要ヲ餘儀ナクサレノデアリマス、是レ即チ必然的ニ經濟計畫ガ綜合的トナリ、統制的トナルノ所以デアリマス、併シナガラ此ノ場合ニ於キマ

シテ、政府者トシテ注意スベキ最モ肝要ナルコトハ、我が國固有ノ特性ヲ顧ミルコトナク、徒ニ新奇ニ走り、或ハ「イデオロギー」ノミニ囚ハレテ、我が國經濟界ノ實情ヲ無視スルガ如キ態度ハ、飽ク迄モ之ヲ排斥シナケレバナリマセス、統制經濟ヘノ發達ニ伴ヒマシテ、政府ノ指導力ヲ強化セラハ、ハ當然デアリマス、併シナガラ政府ノ官吏ガ民間經濟ヲ指導スルニ當リマシテハ、須ク民ノ心ヲ以テ己ノ心トナシ、懇切丁寧ニ之ヲ導クノ必要ガアリマス、適用セラルベキ法令ノ趣旨ヲ十分理解セシムルガ如キハ固ヨリ當然デアリマス、斯クシテコソ國民ハ安シテ政府ヲ信賴シ、國家ニ奉公シ得ルノデアリマス、萬一其ノ方法ヲ誤リ、一朝信ヲ民ニ失フニ至ルナラバ、百ノ法令モ政府ノ努力モ悉ク水泡ニ歸スルノデアリマス、醵シテ豫算ノ内容ヲ檢討致シマスルノニ、政府ハ本豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、物資ト資金トノ均衡ニ付相當注意ヲ拂ヒタルヲ以テ、事態ノ變化ヲ見ザル限り、本豫算額ヲ以テ十分賄ヒ得ベク、新タニ増稅ヲ爲スノ意思ナシト聲明セラレタルハ、誠ニ我が意ヲ得タル所デアリマス、一面ニ於キマシテ、來年度ニ於キマシテハ更ニ巨額ノ公債發行ノ要ガアルノデアリマス、從テ之ガ消化ヲ容易ナラシムル爲ニハ、政府ハ國民貯蓄ノ獎勵ニ一段ノ拍車ヲ加フルト共ニ、能ク金融界ノ實情ト協調ヲ圖リ、進ンデ之ニ應募スベク積極的ノ工夫ヲ要スルノデアリマス、苟モ企業界ノ萎靡、經濟界ノ混亂ヲ來タスコトナキヤウ深甚ノ注意ヲ望ム次第デアリマス、又經濟問題ニ關シテハ、政府ハ低物價政策ヲ堅持シツ、物價ノ適正ヲ期スベク、物資ノ偏在ニ付テモ

配給機構ヲ適切ニ調節シテ其ノ圓滑ヲ圖ル
積リデアルト明言サレテ居リマスルガ、如
何セム今日ノ實情ハ、必ズシモ政府ノ期待
ニ副フモノデハアリマセヌ、物價ノ問題ハ、
單リ産業振興ニ重大ナル關係ノアリマスル
ノミナラズ、一般國民ノ日常生活ニ直接至大
ナル影響ヲ及スモノデアリマスカラ、政府ハ
宜シク國民ノ聲ヲ聴キ、廣ク知識ヲ民間ニ求
メ、速カニ其ノ適正ヲ期セラレムコトヲ望ムモ
ノデアリマス、食糧政策ニ關シマシテハ米ノ問
題、蠶絲對策等、政府ノ苦心ノ跡ハ認メラレ
ノデアリマスガ、是等ノ事項ハ農村ニ直面セル
重大ノ問題デアルノミナラズ、民心安定ニ關
スル根本ノ問題デアリマス、國民ガ少クトモ
最少限度ニ於テ其ノ生存ヲ保障セラハ、ニ
非ザレバ、奮テ銃後ノ奉公ヲ完スルコトガ
難イノデアリマス、長期抗戰ノ完キヲ期スル
ノ要諦ハ實ニ茲ニ存スルノデアリマス、政府ガ
物資動員計畫中最モ重點ヲ置カル、鐵及石
炭デアリマス、蓋シ是等ノモノハ、何レモ全產
業ノ基礎ヲナスモノデアルカラデアリマス、
鐵ニ付キマシテハ、現ニ我方國ニ對シ敵對行
爲ヲ政テ經濟壓迫ヲ事トスル第三國ニ、其
ノ資源ノ一部ヲ求メツツアッタノデアリマ
スガ、今や我方國ハ從來ノ企業方針ヲ一變
シ、其ノ原料ヲ單リ國內ニ求ムルノミナラ
ズ、廣ク東亞共榮國內ニ之ヲ求ムルノ方策ヲ
樹ツルノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、一面
ヨリ觀察致シマスレバ、我方鐵工業ハ第三
國依存ヨリ脱却シテ、我方勢力國內ニ於テ
自給自足ノ根本ニ立歸ルノ時機ニ際會シタ
ノデアリマス、我々ハ寧ロ痛快ヲ感ゼザル
ヲ得ナイノデアリマス、石炭ニ付キマシテ
モ亦同様、實ニ國內生産ヲ獎勵スルニ止ラ
ズ、我方經濟圈內ヲ綜合シテ計畫ヲ樹ツル

ノ要ヲ認ムルモノデアリマス、國際貿易ノ
伸暢ハ、假令戰時中ナリト雖モ、富力増進上
大イニ努メナケレバナリマセヌ、然ルニ從
來我方國ノ得意トスル市場ハ、多クハ敵性
ヲ政テスル第三國デアリマス、我々ハ軍需
資材ノ實ト共ニ、輸出獎勵ニ力ヲ用ヒ、
是等非友好的ノ第三國ヲ相手トセズ、廣ク
世界ノ各方面ニ互リ新市場ノ開拓ニ努力シ
ナケレバナリマセヌ、殊ニ南洋南米等ニ於
テハ、歐洲戰亂ノ結果、我方國ノ物資ヲ希望
スルノ傾向ハ日ヲ逐ウテ顯著ナル狀況ニア
ルノデアリマス、故ニ政府ハ之ニ要スベキ
資材ノ配給ヲ潤澤ニシ、官民協力貿易振興
ノ途ヲ講ズルノ要ヲ認ムルモノデアリマス、
經濟組織ノ變化ニ伴ヒマシテ生ズル失業問
題ニ付キマシテハ、政府苦心ノ程モ察セラ
レノデアリマスガ、國家ノ綜合的協力、
全國民ノ活躍ヲ要スル今日ニ於キマシテ、
多數ノ失業者ヲ出スハ誠ニ悲シムベキ現象
デアリマス、是ハ正ニ企業計畫並ニ之ニ對
應スル措置ニ關シ遺憾ナル點アルコトヲ證
スルモノデアリマス、政府ハ國民ノ一人ト
雖モ其ノ處ヲ得ザラシムルコトナキヲ期シ
テ、努メテ之ガ防止ヲ圖リ、不幸ニシテ其ノ
職ヲ失フ者ニ對シマシテハ、十分ナル安
定ノ方途ヲ講ズルノ要アリト信ズルモノデ
アリマス、思フニ今日ノ如キ急迫セル事態
ニ於キマシテ、眞ニ國民ヲシテ一致團結、
心カラ國家ニ奉公ノ誠ヲ盡サシムルニハ、
政府ト云ハズ國民ト云ハズ、舉ゲテ聖旨ヲ
奉體シ身ヲ挺シテ遵奉實踐スルニアルコト
ハ今更申上グル迄モナイ所デアリマス、近
時萬民贊贊ノ實ヲ舉グルガ爲ニ、大政翼贊
會ノ舉ガアリマス、苟萬民ヲシテ大政翼
贊ノ誠ヲ致サシムト欲セバ、宜シク翼贊

會ノ理念ト真相トヲ普ク國民ニ理解徹底セ
シムルノ要ガアリマス、其ノ旗幟綱領ヲ闡
明ナラシメザレバ、徒ニ國民ヲ迷ハシ、疑
惑ノ念ヲ生ゼシメ、其ノ結果一億一心臣道
實踐ノ實ヲ舉グルコトハ到底望ムベカラズ
ト信ズルモノデアリマス、況ヤ憲法上ノ大
義ニ悖ルガ如キ疑ヲ抱カシムルガ如キハ、
斷ジテ慎マザルベカラザル所デアリマス、
政府ハ來年度ノ豫算ニ於テ、現下ノ國際情
勢ニ鑑ミ萬遺憾ナキヲ期シ、本案ヲ提出セ
ラレタル誠意ト共ニ、政府ガ渾身ノ力ヲ揮
ヒ、高度國防國家ノ完遂ニ當ルノ決意ハ、
之ヲ諒トスル所デアリマスガ、今日ノ如ク
朝ニタラ測ラレザル複雜微妙ナル國際情勢
ニ於キマシテハ、何時如何ナル重大事態ノ
突發スルヤモ測ラレザルモノガアルト痛感
スルノデアリマス、此ノ時ニ當リ國民ヲ舉
ゲテ其ノ變ニ應ズルノ覺悟ヲナスベキハ勿
論ノコトデアリマスガ、政府ニ對シテモ亦
機ニ應ジテ一歩ヲ誤ラザルノ用意ヲ促
サルヲ得ナイノデアリマス、而シテ
此ノ國家危急ノ時ニ當リ、此ノ難局ヲ突
破スルニハ、一ニ國民ノ愛國の總決意ニ
依ラザルベカラズト確信シテ已マザルモ
ノデアリマス、而シテ其ノ目的ヲ達スル
ニハ、政府ハ實ニ法令ヲ盾トシ、國家權力
ノ蔭ニ隠レテ國民ヲ強要セムトスルガ如キ
態度ヲ避ケ、寧ロ進ンデ臨時議會ヲ開キ、
眞ニ國民ノ總意ニ基キ、上下一致、一億一
心、萬民贊贊ノ舉ニ出デラレムコトヲ切ニ
要望シテ已マザルモノデアリマス、殊ニ我
國ニ對シ敵性ヲ有スル民主國ノ人民ニ對
シテハ、帝國議會ヲ通ジ發表セラレタル言
論ハ、最モ強く彼等ニ反映スルノデアリマ
ス、故ニ私ハ斯クノ如キ場合ニ於テ政府ハ

即時臨時議會ヲ開會スルノ用意アラムコト
ヲ重ネテ要望スルモノデアリマス、以上豫
算ノ實行ニ關シマシテ聊カ卑見ヲ述ベテ、
豫算各案ニ對シテ贊意ヲ表スル者デアリマ
ス(拍手)
○議長(伯島松平賴壽君) 建部逯吾君
(建部逯吾君演壇ニ登ル)
○建部逯吾君 只今上程トナリマシタル昭
和十六年度歳入歳出總豫算案外五案ニ對シ
マシテ、私ハ贊成ノ意思ヲ表スル一人デア
リマス、但シ豫算ハ固ヨリ單純ナル數字デ
ナク、其ノ運用ニ依リテ國政ニ及ス價值成
績ニ、黒ト白、雪ト炭、天淵蓋ナラザル隔
リヲ生ジマスルガ故ニ、私ハ茲ニ此ノ巨大
ナル豫算執行ノ責任ヲ負ハル、所ノ、政府
當局ニ對スル希望ヲ簡單ニ述ベマシテ、贊
成演說ニ充デヨウト思ヒマス、世界文明ハ
近ク大ナル危機ニ瀕シテ居リマス、文明ノ
五ツノ自然史的段階ニ於キマシテ、未開、
半開、完開ハ過ギ去リ、今や過開ヨリ衰落
ノ七ツ下リニ向ヒツ、アルノガ、西洋文明
ノ相デアリマス、加之、此ノ時代ニ起リ易
イ所ノ社會的神經衰弱症ガ、著シク強ク彼
等各國ヲ襲ヒツ、アルノデアリマス、神經
衰弱症ニ罹レル者ハ、怖イモノヲ見タガ
リ、悲觀材料ヲ聞キタガリマス、見タイ聞
キタイガ、見エル聞コエルニ進ミ行キマス
レバ、既ニ立派ナル精神異常デアリマス、
ソコデ國際ニハ宣傳、國內ニハ流言蜚語、
是等ノ事ドモガ容易ニ且廣ク流行致シマス、
列國ノ鏖々タル、人物ノ言論ヲ舉動ニ、其
ノ人ノ平生ニ不似合ヒナル陋劣、野卑、非
理、脫線ガ數々現レ來リマスル、論スニ道
理ヲ以テ致シマシテモ、單純ナル筋道ヲス
ラ了解ラセズ、發悟モセズ、例ヘバ某國ノ

最高位ノ宗教者、某國ノ政治的第一人者第二人者等、最近比々トシテ其ノ實例ヲ提供シテ居リマス、我が國デモ肥料ノ八月ノ配給、而モ五月迄ニ配給サルルベキ春肥ノ八月配給、木炭配給ノ十大手落等々手達ヒヤ手落チガ續出シ、遺憾ナガラ時局ヲ憤慨スル名士ノ言行ニスラモ其ノ症候ガ現レ、行政技術上聊カノ工夫デ出來ル所ノ事項ニスラモ、是等ノ失態ガ現ハル、ト云フガ如キ、將又政治當局ガ、信ヲ民ニ失ウテ平氣デアルト云フガ如キモ、矢張り同ジ症候ノ一例デアリマス、ソレデ到頭民ヲシテ歸向スル所ヲ失ハシメルト云フコトニナリマスルト、民モ亦神經衰弱ガ被害妄想ニ罹リ行クノデアリマス、嘗テハ大正十二年ノ大震災ト云フ不時災發ノ大兇變デ、鮮人ノ暴動ト云フ被害妄想カラ來ル途方モナイ流言蜚語ノ氾濫致シマシタコトモ、社會的急性神經衰弱症ノ好適例デアリマス、更ニ又知能活動、經濟損失、人命滅却、有ラユル點デ有史以來ノ大規模ヲ極メタル世界戰亂ノ影響ガ、世界各國各民族ヲ神經衰弱ニ導キ、絶大ノ驚キト恐レト、他ニ依ルコトト、雷同カラ、竟ニ理性滅却ト云フ惘然ナル狀態ニ陥ラシメマシテ、所謂民本思想ヤ國際主義ナドト云フ盲目の大流行ヲ現出シ、我が國社會ヲモソレガ搖リ動カシマシテ、誠ニ凄マジキ事實ヲ現出致シタコトモアツタノデアリマス、今日ノ世界、殊ニ歐米ハ、山雨來ラムト欲シテ風樓ニ滿チ、國ガ徒ニ大ニシテ之ガ指導ヲ成シ遂ゲ得ル人物ナク、人ノ心モ民ノ生活モ、不安ト忽忙トニ耐ヘ兼ネマシテ、復右同様ノ悲境ヘト顛落シツ、アル次第デアリマス、併シナガラ西洋文明ノ盛ナリシ時ト姿ト回顧致

シマスルト、ソレヲ此ノ儘ニ滅亡ニ歸セシムルコトハ、我々ト雖モ心外ノ至リデアアルノデアリマス、謹ミテ 神武天皇極原愛都ノ大詔 明治天皇五箇條御誓文、更ニ教育勅語等、皇祖皇宗ノ御遺訓ヲ仰奉リマスレバ、我が皇國ノ政治ノ基本ハ正シサデアリマス、天地ノ公道デアリマス、皇祖皇宗ノ神謨ハ即チ皇國ノ國是デアリマス、國是ハ皇道ノ實現デアリ、其ノ對外發現ガ皇道外政、即チ公道ノ道、公道外政デアアルノデアリマス、第一第二近衛內閣ノ對支聲明及ビ實行ニ於キマシテ、土地ノ割讓ヲ求メズ、戰費ノ賠償ヲ求メズ、近クハ又完全ニ平等公明ナル協和條約ヲ締結シテ、低級理念ノ外持合ハセノナイ所ノ列國ヲ驚カシタルガ如キハ、正ニ皇道外政發現ノ一端、而モ我が國ニ取リテハ唯是レ尋常茶飯ノ事ニ過ギナイノデアリマス、正シサヲ養ウテ天地ノ公道ニ基キ、中外ニ施シテ悖ラズ、古今ニ通ジテ謬ラザル皇祖皇宗ノ御遺訓ヲ、舉國ノ本源以來、永久不動ノ國是トスル大日本皇國ハ、世界列國民族ノ墮落、頹廢、頹廢ヲバ他人ノ事トハ思ハズ、我が事トシテ匡濟シ回復スルガ爲ノ大慈大悲ノ手ヲ伸ベズンバアラズト申サネバナリマセヌ、ソコデ其ノ國ノ指導者、首腦者ト事ヲ共ニシ或ハ協調シ又折衝スルニハ、必ズ其ノ心理狀態ノ、時ト處ト位トニ於ケル特色ニ應ジテ、處理ト投藥トヲ斷行セナケレバナリマセヌ、殊ニ近頃我が國民ノ間ニ稍、輕々シクロニセラル、八紘一字ノ理念ニ立チマスル以上、必ズヤ忠告善導ヲ以テ其ノ行キ方トシ、文明ノ破滅ヲ防ギ護ルヲ以テ其ノ方針ト致サナケレバナリマセヌ、西洋文明ノ盛衰ノ歴史ニ於キマシテ、英國ハ盛ナルニモ衰ヘル

ニモ、共ニ先進國デアアルコトハ誠ニ是非モナイ事實デアリマス、米國ハ前途尙若干ノ洋々タルモノガアリマスルガ、而モ今ガ實ニ危機デアアルノデアリマス、「ペンジャミン・フランクリン」ノ國デ人口減衰ノ爲ニ、賢明ナル故人大統領「ロオズヴェルト」君ヲシテ、千九百五年夙ニ民族自殺ノ警告、即チ我が米國一億ノ同胞諸君ハ今ヤ民族自殺ノ罪惡ヲ犯シツ、アルデハナイカト云フ警告ヲ發セシメタノデアリマスルシ、又全米國民中、英語ヲ語リ若シクハ理解シ得ル所ノ國民ハ百分ノ六十五ニ過ギナカッタト云フ彼ノ第一世界戰亂ノ當時ノ「アメリカニゼーション」米國化運動ニ較ベマシテ、更ニ一日ヲ舒ウスベカザル人口複雜カラ來ル等、各種ノ重要ナル內政改革、其ノ大事業、必要事業ヲモ忘レタル如ク棄テマシテ、極軸敵性國ヲ主義ニ於テハ嫉ミ若シクハ惡ミナガラモ、自ラハ彼ノ獨裁主義的「ドイツイ」化「イタリー」化「向テ狂熱的ニ險シイ坂ヲ降りツ、アル等、」ワシントン」ハ泣キ「モンロオ」ハ恨ミ「リンコルン」ハ黙シ、「グランド」ハ怒ルベキ精神分裂症振リノ鮮カサ、「イタリー」ノ達人「フエレロ」教授ノ先見ニ富メル忠實ナル米國ニ對シテノ警告ヲ全然逆ニ行キマシテ、古ノ「ローマ」共和國ノ季ノ世ノ運命ニ急ギツ、アル體タラク、是ガ我が敬愛スル米國ノ近狀、現狀デアアルノデアリマス、若シモ世界ノ一角ニ、皇道政治ニ立チ公道外政ヲ行フ我が國ノ忠告善導ヲ拒ミ斥ケ、甚ダシキハ彈壓シ、幾千百ノ汚名ヲ我レニ投ゲ掛ケ、善ヲ誣ヒ、義ニ背キ、内ニハ彼等自ラノ文明ヲ破滅シ、外ニハ暴ヲ以テ德ニ加フルモノガアリマスルナラバ、彼ハ國際的亂賊デアアルノデアリマ

ス、我々は「磨テ荆筵」是レ懲スハ、先覺民族ノ本務デアリマシテ、固ヨリ我レニ於テハ何時タリトモ懸念斷行ノ實力、精神ト物質ト兩方面ノ用意ニ缺クル所アルベキデハナイノデアリマス、紫ヲ以テ朱ヲ奪ヒ、鷺ヲ烏ト言ヒクルメルト云フコトハ、天地ノ公道ニ對スル冒瀆デアリマス、公ノ讒言ト虚構トヲ主トスル所謂宣傳ハ、正シサヲ養フト云フ聖訓ニ對シ奉ル所ノ反逆デアリマス、自ラ欺キ自ラ墮落シテ何ノ八紘一字デアリマセウカ、人ハ天地ト共ニスルコト程強キハアリマセヌ、殊ニ邪ヤ惡事ガ蕩々トシテ東ニモ西ニモ漲ル今日ニ於テ然リト申サナケレバナリマセヌ、日本民族ハ飽ク迄正理公道ヲ以テ、世界二十億天民ノ木鐸タルベク、自ラ任ジ、自ラ省ミ、自ラ力メ、自ラ鞭ウタネバナラスノデアリマス、勿論正劍公刀ハ即チ無刀デ、無機ノ大機ハ攻ムルニモ防グニモ可ナラザルハアリマセヌガ、公議宣傳ノ邪惡ヲ叩キ潰スニハ何ノ容赦ヲ要セヌ所デアリマス、民族の社會的の神經衰弱ハ、今ヤ實ニ世界的の症狀デアリマス、遺憾ナガラ敵性トナレル所ノ兩國、我が愛重スル所ノ英米ニ於キマシテモ、此ノ點ニ於テ特ニ他國ヨリモ輕イト申スベキ事實ニハ、不幸ニシテ接シ難イノデアリマス、我が國ノ對敵性國態度ニ付テ繰リ言ハ無用デアリマス、英國ハ「フランス」ヲ、オ前立テトシテ、其ノ犧牲ノ蔭ニ暫クノ荷安ヲ偷ミ、米國ハ更ニ英國ヲ、オ前立テトシテ、又同様ノ算盤ヲ彈イテ居リマス、智者ハ因果ハ廻ル小車ト云フノ喻ヲ忘レハセヌ、義戰無シナラマダ宜イガ、利ノ爲ニスル利戰、穢キ醜戰ノ續出ヲ以テ、第二十世紀ハ竟ニ西洋文明ノ決算期トナルノデアリマセウカ、

誠ニ嘆カハシイ限リデアリマス、成ル程彼ノ國ニモ援英戦争、對日開戦ニ反對スル所ノ識者ハアリマス、中ニハ義ニ逆ニシテ今ハ順デアリマス所ノ名士モ見エマス、是ハ併シ或ハ其ノ敵ヲ憐ラシムル謀略カモ知レマセヌ、處デ我レガ若シ國民ニ是ガ誇大ノ報道ヲ致シマスルナラバ、ソレハ敵ノ術中ニ陷ルモノデアリマス、自國民ヲ惑ハサヌヤウ、言論取締ガ頭隠シテ置イテ尾ヲ隠サス雄式ニ陷ラス心得ガ肝要デアリマス、ソレエト・ロシヤ・ト國交ヲ修整スベキハ當然ノコトデアリマス、又防共ハ我が國ノ國內事項デアリマス、何國ノ干涉ヲモ容サザルモノデアアルハ是亦固ヨリ當然ノコトデアリマス、唯「ソヴィエト・ロシヤ」ト我が國トデハ民族性ガ大イニ違フ、防共ヲ撤回シ中止シナケレバ、「ソヴィエト・ロシヤ」ト國交修整ハ不可能デアルト危ミ懼レルノガ、我が多數ノ考デアルヤウデアリマス、西洋人ト云フモノノ片隅ニ列シテ居ル「ソヴィエト・ロシヤ」ノ政治家乃至民衆ハ、案外防共ト國交トヲ混同セザルト云フ民族性ヲ持主デアアルノデアリマス、綜合的ナル東洋民族ノ先天性事大傾向、長イ物ニハ卷カレルロト云フ傾向、又分析的ナル西洋民族ノ先天性主我的傾向トガ、此ノ喧ヒ違ヒトナッテ現レテ來ルノデアリマス、ソレデ損ヲスルノハ東洋ノ方デアリマス、我が上ト下ト一般ハ速カニ此ノ點ニ悟ル所ガナクテハナリマセヌ、「ソヴィエト・ロシヤ」ノ日本乃至樞軸ニ對スル國交調整ノ傾向、之ニ關スル資料ハ、或方面ノ外字新聞ニ於ケル、往々ハ「ソヴィエト・ロシヤ」ノ名士ノ寄稿ノ論文ヲ通シテモ得ラレ、又察セラレルノデアリマス、目的ナリ方向ナリ、視ル目ニ依ッテ大方ハ模索ガ出來ルヤウデアリマス、支那民族ハ古來文化ニ於テ世界ノ白眉デアリマス、政治ハ其ノ最モ短所デアッタノデアリマス、易姓革命二十五ノ歴史ヲ重ネタル支那、國ヲ

愛シテ居リナガラ而モ國ヲ棄テルト云フ豪傑ガ頻リニ出ルト云フ支那、國ヲ離脱シテ十二分ノ成功ヲ誇ル所ノ、千萬ヲ以テ數ヘル華僑ト云フモノヲ、世界各地ニ送ル所ノ支那、何レモ比々トシテ文化ニ長ジテ居ルガ、政治ニハ長ゼズト云フ實證ヲ提供シテ居リマス、日支兩國ガ提携シ、友トシテ交ルコト云フコトノ原理ハ、文化ト政治トニ依ル相互扶植ニアリマス、ソレガ即チ天ノ配劑デアアルノデアリマス、扶ハ、夫ガ手ヲ伸ベテ妻ヲ散步ニ導ク形植ハ、是ハ倒レムトスル弱イ草花ニ直ナル棒ヲ添ヘテ之ヲ育デルコト、扶植ハ殊ニ日本ガ支那ニ對スル手傳ヒニ於テ正々堂々タル行キ方デアルト存ジマス、國ハ榮エナケレバナラス、隣國同士ハ共ニ榮エネバナラス、東亞列國ハ數千年ノ永ク且深キ文化並ニ政治關係ノ隣國同士デアアル、然ルニ東亞共榮圈ト云フ當然過ギル程當然ノ言葉ガ、何故ニ近頃特ニ新シク出テ來タノデアアルカ、ソレハ東亞ガ一百年來西國罪惡記念塔ノ影暗キ處デアッタカラデアリマス、凡ソ國際關係ガ今尙未熟ニシテ混沌ノ域ヲ脱シナイコトハ、偽、惡、邪、醜ヲ以テ力トスル覺束ナキ優勝劣敗觀ノ跋扈ニ因リマス、ソレハ畢竟、眞、善、正、美ヲ力トスルノ賢サニ達セスコトノ致ス所デアリマス、今ノ列國ハ大愚競爭ノ世界ノ選手共デアアル、眞ノ優勝劣敗ハ賢勝愚敗、賢キガ勝チ愚ガ敗ケルト云フコトニアル、ソレ迄ハ人間モ文明モ、年ニ月ニ墜落ヲ趁ウテ深ミニ陥リツ、行クノガ運命デアリマス、現内閣ハ科學スル文部大臣ト、人口問題ヲ重ク視ル厚生大臣ト有スルノ誇ヲ持ツテ居リマス、科學ノ最大特性ハ合理性ト分業性トデアリマス、合理性ニハ長所ノミアリ而シテ短所ハ少シモナイ、分業性ニハ長所ト短所トガアリマス、文部大臣ハ科學的分業性、即チ分科性ノ短所、之ヲ深ク警戒ナサツテ、之ヲ教化、教育ノ本源ヨリ、進

ンデ一般ノ政治經綸ニ迄及ボサレタイ、君子ハ器ナラズト申スコトガアリマスルガ、官僚ガ餘リニ器デアッタ爲ニ、一ツノ新事業ニハ必ズ一ツノ新官衙ガ起リ、機構ガ二重ニモ三重ニモナリ、而モ此ノ處ニ三十年ハ行政整理ト云フ聲ガ聞エマセヌ、機構愈々雜ニ赴キマシテ、事務益々停頓スルト云フ弊ハ、我が文部大臣モ亦目撃セラレル所デアラウカト想像致シマス、我が國ノ人口問題ハ、餅屋ノ責務上、不肖私モ聊カ議政壇上ニ之ヲ提唱致シマシタ、凡ソ我が近頃ノ人口問題ノ發展ハ三期ヲ經テ居ルノデアリマス、二十年前米國カラ「サンガー」ト申ス老女ガ渡リ來リマシテ、我が民族生命ニ對シ、產兒制限ト云フ自殺勸告、死刑宣告遊戯ヲ試ミマシタ、何ガ扱テ世界戰亂直後、例ノ神經衰弱、理性沒却ノ思想變態病態最中ノコトトテ、天下ノ有象無象ハ靡然トシテ之ニ隨喜渴仰シ附和雷同シテシマヒマシタガ、是ガ第一期デアリマス、加藤高明總理大臣ニ對スル不肖私ノ警告ヲ以テ第二期ニ入り、流石ニ陛下ノ帝國議會ニ於ケル眇タル一議員ノ質問デアリナガラ、忽チ識者殊ニ政治家ノ間ニ有力ナル精神の波紋ヲ畫キ、人口問題ハ衆議院ニ於ケル一種ノ流行ノ觀ヲ呈シマシタ、勢ノ進ム所ハ帝國人口ノ實勢ト相應ジテ、近時ノ人口ノ實ト量ト兩面兼濟ノ二元論トナル迄ニ至リマシタ、諸君、ガ大切ナル第三期ノ關門デアアルノデアリマス、抑、人口ノ質ノ改良ト量ノ増進トハ、相互ニ何等ノ相關の關係ノナイ全然獨立ノ事項デアアルカ、否デアリマス、其ノ主體ガ渾一存在、一ツノ人口其ノモノデアアル以上、特ニ完全ナル科學根據ノ證明ナキ限り、此ノ間ハ當然否定ヲ以テ答ヘラルベキモノデナケレバナリマセヌ、然ルニ第二期末ノ人口政策ハ、全然獨斷的肯定ノ上ニ立テ、質ノ改良ト量ノ増進トヲ完全ニ兩立出來ルモノトシテ平氣デ居リマス、是モ亦科

學ノ分科性ノ短所ノ一例デモアルノデアリマス、茲ニ第三期ノ最大任務ハ、之ニ完全ナル科學的研究ヲ加ヘテ、質ト量トノ兩者ニ相關關係ノ有リヤ無シヤ、並ニ社會文明、殊ニ其ノ病症ノ隨一デアアル所ノ警澤症ト本問題トノ重要關係其ノモノノ基礎ニ立テテ厚生政策ノ樹立ニアラネバナラスノデアリマス、天ノ下ノ大御寶ノ精神ト身體トニ關スル重大政務ヲ司ラル、文部大臣及ビ厚生大臣、敢テ此ノ機會ニ以上ノ進言ヲ披瀝致シテ置キマス、擬大政翼贊會、大政翼贊會ハ憲法ニ對シ、帝國議會ト云フ重キ公的機關ノ前ニハ、輕キ私的施設デアリマス、是ハ立入ッテ違憲ト否トヲ問フ迄モアリマセヌ、其ノ組織ニ考慮ノ未熟ガアリ、其ノ人事ニ、清濁併セズムガ過ギテ、藥毒併セ奧フガアリ、其ノ仕事ニ、現下ノ時局離レノセル、覺束ナキ逆進化的ナル「イデオロギー」遊戯ガアリ、其ノ趣味ニ、臣道實踐式臣民ニ似テモ似付カヌ不純「バタ」式臭味ガアリ、其ノ哲學ニ、人格ヲ閉却シテ人ヲ物視スル墮落唯物觀ガアリ、餘リニ天下一統ノ夢ヲ趁フニ急ギ過ギテ、陳勝吳廣ト云フ連中ノ抑ヘ方ヲ忘却シテ手拔カリガアリ、必ズヤ名ヲ正シウセムト古ヨリ我々教ヘラレテ居リマス、ソレヲ態々世ノ中ノ誤解ヲ受ケ、疑懼ヲ惹キ起スヤウナ名稱ヤ言葉遣ヒノ輕率連發ガアッタヤウデアリマス、元來多勢ノ官僚ガ歷然ト列セラレ、省、局、部、課ト云フヤウナ整然タル機構ヲ以テ、大イナル行政機關ガ儼然ト控ヘテ居リマス、大イナル行政機關ガ儼然ト控ヘテ居リマス以上、大仕掛ノ大政翼贊會ノ新設セラレルコトハ、正ニ二重機關ノ嫌ヒヲ免レハ致シマス、併シ一方亦官僚モ果シテ其ノ任務ヲ完全ニ遂ゲ行フタカト云フコトニ付テハ、年來若干ノ疑問ガ世間ニ殘ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ併シナガラ彼等ノ不徳ノ爲デアリマセヌ、樵夫ノ洗濯、即チ不適材不適處ノ爲デアアルノデアリ

マス、全體官僚獨善ト能ク世ノ中ニ申シマスガ、官僚ハ獨善ヨリモ謙遜ガ過ギマス、陸海軍、司法ハ其ノ道ノ人ガ一省ヲ充タシテ居ル、言換ヘレバ其ノ道ノ人デ一省ガ賄ハレテ居リマスルガ、例ヘバ教育行政機關デ見テモ、幾多ノ部外人ノ援護ガ必要トナッテ居ルノデアル、二三十年來格別ノ準備モナシニ出席シテ員ニ備ハル所謂調査委員會トカ審議會トカガ無數ニ出來タ、ソレモ皆樵夫ノ洗濯ノ崇リデアリマス、實質ヲ重ンゼズシテ形式ヲ偏重スルノ積弊デアリマス、流石ニ現内閣ハ舊十二月中既ニ官吏任用ノ改革ニ著手セラレマシタ、更ニ一步ヲ進メラレマシタ目ヲ拭ウテ觀ルベキ域ニ達スルコトデアリマセウ、大政翼賛會ニモ總裁ト役員トガアリマス、凡ソ「リーダー」トカ「ヒューラー」トカ、頭取ノ指導ト中間ニ介入スル所ノ下請人ノヤリロトデハ、兎角喰ヒ違ヒガ出來タガルモノデアリマス、トンデモナイ喰ヒ違ヒヲ頼被リデ過サウトスルノハ、一層累ヲ頭取ニ及シ、果テハ屋簷骨ヲ崩スガ落チデアアルノデアリマス、大政翼賛會ノヤリロハ、兎角王安石ノ新法ヲ人ヲシテ想ハシメルモノガアルヤウデアリマス、現代ノ世界ノ變態病態タル社會の神經衰弱症ニ罹リテ居ル所ノ民ヲ治メルノニ、煩苛ナル法令ヲ、翻覆定マラザル行政ヲ以テスルノハ、坂落シニ、民ヲシテ手足ヲ措ク所ナカラシムル何ヨリノ近道デアリマス、捷徑デアリマス、民ト云フモノハ、勞役ニ疲レ、フミナラズ、娛樂ニモ疲レ、休養ニモ疲レ、事業ニ疲レ、安樂ニモ疲レ、休ルモノデアアルノデアリマス、昔ノ教ニモ、大國ヲ治ムルハ小鮮ヲ烹ルガ如シ、上ニ立チテ活キテ政治ヲ行フ諸君子ハ此ノ人間心理ヲ忘レテハナラナイノデアリマス、世ノ中ニ可愛サ餘ッテ憎サガ百倍ト云フ諺ガアリマス、其ノ裏ハ、憎サ餘ッテ可愛サ何倍、之ニナリマス、此ノ二ツハ併シナガラ、雙方共

同一ノ心理的法則ノ現レデアリマス、ソレガ轉向者ヲ過當ニ優遇スル心理トシテ、餘程自ラ氣ヲ附ケテ警戒ヲシマセスト、必然ニ出テ來ル所ノ心理デアアルノデアリマス、是ハ歷史上デモ人君タル人々ニ屢見ラレリ所ノ事實デアリマシテ、其ノ爲ニ大事去レリ矣ト云フ悲慘ナル歷史上ノ跡方ヲ留メテ居ルコトモ罕デハナイノデアリマス、大政翼賛會ノ改組ト云フコトハ、總理大臣ガ本議會ノ臨時隨處ニ言明セラレテ居ル所デアリマス、併シ改革ハ單ニ組織機構ヲ改メ完成ハ致シマセス、普請ニハ組立ト共ニ先ヅ木材カラ吟味シテ掛カラナケレバナリマセス、改革内容ヲ豐富ニスルコトハ、熟慮ニ次グ熟慮ヲ條件トスル、斷行ヲ必須ト致シマス、議會ニ現レタル幾多ノ疑義ニ抵觸スル事項ヲ避ケルト致シマシテモ、教化問題、社會の諸問題ヲ始メ、行政機關ノ手ノ届キ難ネル幾多ノ事業、ソレヲ實行スルコトノ擔當、若シハ手傳ニ於テデモ、成スベク又任ズベク、臣道ノ翼賛の方面ガ廣ク開ケテ居ルノデアリマス第七十六議會ノ進行ニ徴シテ、庶政一般、扱ハ大政翼賛會關係ノ事態ニ至リマス迄、我々議員同僚各位ヲ始メ何人モ、近衛總理大臣ニ對スル敬意ト信頼トヲ高度ニ保持有セザル者ハナイト思ハレマス、私ハ明確ニソレヲ認メテ居リマス、滿天下津々浦々ノ士民ニ於テハ尙更デアラウト信ジマスル、天下ノ公人近衛公爵ガ政治社會ノ水平線上ニ立タレテカラ、終始一貫セラレ、純正ニシテ宏遠ナル理想ト經綸トノ二十有餘年ヲ回憶シ來レバ、更ニ此ノ信頼ト敬意トノ當然ナルヲ認メザルヲ得ナイノデアリマス、茲ニ私ハ特ニ公爵ガ年來世ニ公ニセラレタル言説ノ二三ヲ味讀スルコトヲ許サレタイノデアリマス、「吾人ハ我が國近時ノ論壇ガ英米政治家ノ華々シキ宣言ニ魅レセラレテ彼等ノ所謂民主義、人道主義ノ背後ニ潜メル多クノ自

覺セザル又ハ自覺セル利己主義ヲ洞察シ得ズ、自カラ日本人タル立場ヲ忘レテ、無條件的、無批判的ニ英米本位ノ國際聯盟ヲ謳歌シ、却ッテ之ヲ以テ正義人道ニ合スト考フルガ如キ趣キアルト見テ甚ダ惘然ナリト信ズルモノナリ、吾人ハ日本人本位ニ考ヘザルベカラズ、是ハ今ヨリ二十三年簡年前、大正七年十一月三日ノ著述、「英米本位ノ平和主義ヲ排ス」ト題サレタ論文ノ一節デアリマス、「力ハ依然トシテ世界ヲ支配ス」、是ハ其ノ翌大正八年一日「パリ」講和會議ニ參列セラレテ、懷カシキ故國ヘノ最初ノ通信ノ劈頭ノ力強キ一句デアアルノデアリマス、「我々ハ眞ノ平和ヲ達成セムガ爲メ今後國際ノ舞臺ニ立チテハ、常ニ經濟、交通ノ自由ト移民ノ自由ト云フ此ノ二ツノ原則ヲ旗印トシテ進ムベキデアル」、是ハ昭和八年二月「世界ノ現狀ヲ改造セヨ」ト題スル論文ノ一節デアリマス、更ニ昭和十年十一月二十二日、日本青年館ニ於ケル講演ニハ、「歐洲戰爭ハ現狀維持ヲ希望スル先進國ト現狀打破ヲ希望スル後進國トノ戰爭デアッタ……元來現狀維持ノ平和機構ヲ以テシテハ最早世界ノ平和ヲ維持スルコトガ出來ナクナッタ」ト云フ言葉ガアリマス、然アリ、力アリ宏遠崇高世界經綸ヲ、確乎トシテ奮フベカラザル信念ニ繼リ成シタル公人近衛公爵ノ一貫シテ其ノ徳ヲ恒ニスル高風清節ハ、廟堂ノ高キニ居ルト江湖ノ遠キニ在ルトデ、聊カモ移リ動キノアルベキモノデナイト信ジマス、世界ノ人心ガ水ニ漂ヘル浮草ノ如ク、寄ル邊ナク頼リナキ世紀末の時運ニ際シテ、皇道政治即チ公道政治ノ責務ハ今ヤ殊ニ重大デアアルノデアリマス、此ノ責務ヲ負荷シ擔當シ、殊ニ之ヲ行ヒ、之ヲ貫クニ至誠ヲ以テセラル、現近衛内閣ノ政務ニ協賛スルニ於キマシテ、不肖私モ亦光榮ヲ感ゼザルヲ得ヌノデアリマス、以上ヲ以テマシテ私ノ總豫算案賛成ノ理由ヲ述ベ

了リマシタ、茲ニ敬ミ畏ミテ皇運ノ無窮ヲ祝ギ奉リ、併セテ内閣大臣各位ノ健康ヲ祈ル次第デアリマス(拍手)

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ討論ハ終リマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ、各案全部ヲ問題ニ供シマス、各豫算案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(議員起立)

○議長(伯爵松平賴壽君) 全會一致ト看做シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、昭和十六年度一般會計案出納預算ニ充ツル爲メ法律案、日程第七、昭和十五年法律第七號中改正法律案、日程第八、昭和十三年法律第二十三號中改正法律案、日程第九、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第十、朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案、日程第十一、臺灣事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ六案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長後藤伯爵

昭和十六年度一般會計案出納預算ニ充ツル爲メ法律案ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

昭和十五年法律第七號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

朝鮮事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臺灣事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月十四日

委員長 伯爵後藤 一藏

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔伯爵後藤一藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵後藤一藏君 只今議題トナリマシタ昭和十六年度一般會計歳出入財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、是等ノ各法案ハ、去ル二月七日昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ノ特別委員ニ併シテラレタノデアリマシテ、各法案ノ提出理由ハ、既ニ本議場ニ於テ政府當局ヨリソレノ説明ガアリマシタノデ、此ノ際省略ヲ致シタイト存ジマス、委員會ハ去ル二月八日、十日、十四日ノ三日間ニ

互リ開催致シマシタ、今其ノ質疑應答ノ要旨ヲ御紹介申上ゲマス、一般ノ公債政策ニ付テハ、其ノ前ノ昭和十二年法律第八十四號ノ審査ニ際シ質問ガアツタノデゴザイマスガ、今回ハ貯蓄獎勵ノ方策、貯蓄ノ現狀ハ如何デアルカトノ質問ガアツタノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、貯蓄ノ方法トシテハ、本年度ハ例ノ報國債券發行ガ目新シイノデ、其ノ外ハ講演トカ協議會等ヲ開イテ全國國民ニ呼ビ掛ケルコトトシテ居ルガ、更ニ全國五十萬ヲ超ユル貯蓄組合ヲ法制化シ、組合ヲ通ジテ貯蓄シタ場合ニハ免稅等ノ恩典ヲ與ヘムトスル國民貯蓄組合法モ考ヘテ居ル、又郵便貯金ヲ改正シ、最高最低限度ノ引上ヲ爲シ、又小額貯蓄債券ノ全額ヲ更ニ引下ゲルコト等モ實行シタイト考ヘテ居ル、本年度ノ貯蓄目標ハ百二十億ニ進ンデ居ルノデアアルガ、十二月末ニハ既ニ百億ヲ突破シ、三月一パイデ百二十億ニ到達スル見込デアルトノ答辯ガアリマシタ、又販賣産業ノ從業者ニ對シ、特別ノ考慮ヲ拂フテ強制的ニ貯蓄ヲサセル考ヘナイカ、之ニ付テ厚生、商工兩省ト大藏省トノ間ニ相談デモシタコトガアルカト云フ間ニ對シマシテ、政府ハ大藏省トシテハ寧ろ進ンデ研究ヲシテ居ルノデアアル、目下研究中ノ國民貯蓄組合法ノ中ニハ、組合ヲ地域的又ハ工場會社別ニ認メ、販賣産業ノ從業者ニハ二ツノ組合別ニ入ルモ差支ナイヤウニシテ居ル、又強制貯蓄ト云フ程デモナイガ、俸給ヲ支拂フ際ニ差引クト云フ仕組ニスレバ、一層貯蓄組合ヲ利用スル途ガアルト考ヘル、又労働者年金保險法ヲ提出スルコトニナツテ居ルガ、保險ノ掛金ガ貯蓄サレテ、間接ニハ貯蓄獎勵ニナルト云フ答ガアリマシタ、次ニ臺灣ノ鐵道建設、大キク言ヘバ交通對策ハ、十年前ト餘リ變ジテ居ナイ、貫通道路モ本年ノ豫算ニ計上サレテハアルケレドモ、臺灣ガ軍事上、産業上、非常ナル擴張ヲ爲

シ、又南方政策重大ノ折柄誠ニ消極的デアアルハ遺憾デアアル、臺灣當局ノ考ハ如何デアルカト云フ間ニ對シマシテ、政府當局ハ、誠ニ御同感デアアル、御趣旨ノ如ク今後出來ルダケノコトヲ致シタイト云フ答辯ガゴザイマシタ、次ニ南朝鮮ニハ麗水、木浦、釜山、馬山等ガアルノニ、新タニ三千浦港ヲ修築スルノハ如何デアアルカト云フ間ニ對シテ、政府ハ全ク是ハ國防上ノ關係カラデアルトノ答辯ガアリマシタ、朝鮮ノ生産擴充ノ主點ハ北方ニアルト思フガ、此ノ方面ノ鐵道ノ改良新設ガ物足ラヌヤウニ考ヘラレル、殊ニ羅津、清津間ノ線路ニ對シ豫算ガ計上セラレテ居ラス、軍事上殊ニ必要ダト思フガドウデアアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、御質問ノ通りデアアルガ、目下財政上ノ都合已ムヲ得ナイノデアアル、併シ成ルベク早く實現ヲ期スル考デアルトノ答辯ガゴザイマシタ、其ノ他種々質疑應答ガアツタノデゴザイマス、又時々速記ヲ中止致シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シタノデゴザイマスガ、委細ハ速記録ニ譲リタイト思ヒマス、斯クテ質疑終リ、討論ニ入り、採決ノ結果、委員會ハ全會一致ヲ以テ六案トモ原案通り可決スヘキモノト決定ヲ致シマシタ、以上ヲ以テ御報告ト致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、六案ノ採決ヲ致シマス、六案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 六案ノ第三讀會ヲ開キマス、六案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十二、昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算報告、日程第十三、昭和十四年度國有財産増減總計算書報告、會議、委員長報告、是等ノ二件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、決算委員長千田男爵
昭和十四年度歳入歳出總決算並昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算及既往年度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査シ

昭和十四年度國有財產增減總計算書ヲ審
査シ

第一

鐵道省ニ於テ港谷驛改良工事ニ伴フ
用地買収ニ關スル件
臺灣總督府臺北州ノ徵收ニ係ル臺北
州羅東郡三星庄所在官有原野貸渡ニ
關スル件
右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモ
ノト認ム

第二

其ノ他異議ナシ
右ノ通議決セリ依テ及報告候也
昭和十六年二月十二日

委員長 男爵千田 嘉平
貴族院議長 伯爵松平 賴壽殿

(男爵千田嘉平君演壇ニ登ル)

○男爵千田嘉平君 只今上程サレマシタ昭和十四年度ノ歲入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算並ニ昭和十四年度國有財產增減總計算書ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本會議ニ於キマシテ政府カラ別段ノ御説明モゴザイマセヌデ、此ノ際數字ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、昭和十四年度ノ歲入歳出總決算ニ於キマシテ、歲入ノ決算額ハ、經常部ニ屬スルモノ二十六億二千九百餘萬圓、臨時部ニ屬スルモノ二十三億三千九百餘萬圓、合計致シマスと四十九億六千九百餘萬圓、之ニ對シマシテ歳出ノ決算額ハ、經常部ニ於テ十九億六百餘萬圓、臨時部ニ於テ二十五億八千七百餘萬圓、合計四十四億九千三百餘萬圓、歳入歳出差引四億七千六百餘萬圓ノ剩餘ヲ生ズル計算デアリマス、而シテ此ノ金額ヨリ昭和十五年度ニ繰越シマシタル歳出ノ財源ニ充ツベキ金額三億千六百餘萬圓ヲ差引キマスと、結局昭和十四

年度ニ於ケル一般會計ノ純剩餘金ハ一億六千餘萬圓デアリマス、此ノ剩餘金中ニハ、昭和十三年度剩餘金ノ使用殘額ヲ含ンデ居リマシテ、昭和十四年度ニ新タニ生ジマシタル剩餘金ハ八千餘萬圓デアリマス、此ノ外ニ特別會計ノ數ハ四十會計デアリマス、此ノ決算ノ金額ハ一々申述ベキモノトハ煩雜ニ互リマスルカラ、決算書ニ依ッテ御承知ヲ戴キマシテ、茲ニ申上ゲルコトヲ省略致シタイと思ヒマス、次ニ國有財產ノ増減總計算書ニ付テ申上ゲマス、昭和十四年度中ニ於キマシテ増加致シマシタル國有財產ノ總額ハ、一般會計ニ於キマシテ六億三千七百三十八萬餘圓、特別會計ニ於キマシテ十三億七千九百五十五萬餘圓、合計二十億一千六百四十四萬餘圓デアリマス、又減少致シマシタル國有財產ノ總額ハ、一般會計ニ於テ一億六千八百一十一萬餘圓、特別會計ニ於テ一億六千五百一十四萬餘圓、合計三億三千三百二十五萬餘圓デアリマス、此ノ増加ト減少トヲ差引致シマスと、結局昭和十四年度ニ於キマシテ國有財產ハ、十六億八千三百二十八萬餘圓ノ増加ト相成リマシタノデゴザイマス、從ッテ昭和十四年度末ニ於キマスル國有財產ノ總額ハ、百四十三億一千五百一十一萬餘圓トナリマス、此ノ増減ノ理由ニ付キマシテハ、煩雜ニ互リマスルカラ此處デハ申上ゲマセス、決算委員會ハ一月三十一日第一回ノ開會ヲ致シマシテ、大藏大臣ヨリ決算ニ關スル一般ノ説明ヲ聽キ取リマシタル後、先例ニ依リマシテ決算ノ審査方針、審査期限、審査ノ順序等ヲ決議致シマシテ、之ガ審査ヲ各分科ニ付託致シマシタ、國有財產增減總計算書ハ、先例ニ從ヒ、小委員ヲ選ビマシテ、其ノ審査方針、審査期限等ヲ決議致シマシタガ、國有財產ノ提出ガ遅レマシタノデ、第七十三議會ノ先例ニ倣ヒ、之ガ審査ヲ豫メ小委員ニ付託スルコトノ決議ヲ致シマシタ、分科會並ニ

小委員會ハ熱心ニ種々質疑應答ヲ重ネラレ、慎重ナル審査ヲ盡サレマシタ、分科會並ニ了ノ豫定期日ハ二月十五日デアリマシタガ、委員諸君ノ御勉強ニ依ッテ、分科決議ノ期日ヲ變更致シマシテ、二月八日各分科ノ主査並ニ小委員會ノ委員長カラ審査ノ報告書ヲ提出セラレマシタ、第二回ノ決算委員會ハ、去ル十二月二日開會ヲ致シ、先ツ各分科ノ主査並ニ小委員會ノ委員長ヨリ詳細ナル報告ガアリマシテ、全部報告通リ決定致シマシタ、既ニ御手許ニ廻ッテ居リマス報告書ヲ提出致シタノデゴザイマス、是カラ審査ノ結果ヲ申上ゲマスレバ、政府ノ措置適切ナラザルモノト議決致シマシタモノガ二件ゴザイマス、即チ其ノ第一ハ、大藏省所管造幣局特別會計ニ於テ六萬三千六百四十圓五錢ノ同局共濟組合購買部ヨリ購入シタル特別牛乳、麵粉辨當代及大阪鐵道株式會社ニ對シテ支拂ヒタル乘車賃等ト證明ヲ作爲シ、支拂ヲ爲シタル件デアッテ、造幣局ガ時局ノ影響ヲ受ケテ極メテ繁忙デアル關係上、其ノ業務ノ強化ヲ圖ルトカ、經濟的負擔ヲ成ルベク輕減スルトカ云フ趣旨ハ十分諒トスルガ、豫算面ニ之ヲ要求スル途ガアルニモ拘ラズ、證明ヲ作爲シテ支拂ヲ爲シタルガ如キハ失當ノ措置デアルト言ハザルヲ得ナイ、其ノ第二ハ、農林省所管一般會計ニ於テ鳥取、島根、兩縣ニ對シマシテ、昭和九年乃至十三年風水害復舊耕地事業助成費トシテ、昭和十四年度ニ於テ交付シタル百十七萬二千七百九十五圓ニ關スル件デアリマス、右ノ助成費ハ、當該年度所管事業費ニ對シ、縣ニ之ヲ交付致シマシテ、縣ハ各事業施行者ノ實施事業ノ決算ニ對シテ補助金ヲ支給スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、補助金ノ交付ハ當該年度所管額ノ限度ニ止ムベキガ當然デアル、然ルニ兩縣ノ支出ノ實績ハ、各年度共ニ相當多額ノ事業繰越金ガ生ジ、國庫補助金モ未使用繰越ト

云フ狀態ナルニ、尙右補助金ヲ交付シテ居ルト云フデアリマシテ、本事業費ハ到底消化シ得ザルコトヲ容易ニ豫測シ得タト認メラレリ、之ガ補助金ヲ交付シタコトデアリマス、以上二件ノ外ニ、政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認ムルモノガ七十九件ゴザイマス、其ノ主ナルモノハ、租税ノ徵收不足並ニ租税ノ徵收過デアリマシテ、其ノ他ハ物件ノ收納又ハ購入、補助金ノ交付ト云フヤウナコトニ關スルモノデゴザイマス、其ノ他ニ付キマシテハ全部異議ナシト云フコトニ相成リマシタ、決算委員會、分科會ヲ通ジテノ質疑應答ノ内容ヲ御報告致シマスルコトハ煩雜ニ互リマスカラ省略致シマシテ、詳細ハ速記録ニ依ッテ御承知ヲ願フコトニ致シマス、次ニ國有財產ノ増減總計算書ニ付キマシテハ、國有財產ノ數量、價格、範圍並ニ其ノ算定ノ方法、増減ノ事由、雜種財產トシテ處分シ得ベキ財產ノ狀況、國有財產ノ整理等ニ付キマシテハ、小委員會ニ於テ種々質疑應答ヲ重ネ、慎重ニ審査ノ結果全部承認ヲ致サレタノデゴザイマスガ、其ノ中デ一點御報告申上ゲマスレバ、國有財產ノ價格ノ算定ノ問題ニ關シマシテ、國有財產ノ減價償却ヲ行ッテ居ルカドウカ、各會計ニ依ッテ其ノ取扱ガ區別ニナッテ居ルノハドウ云フ理由デアルカ、作業會計ト其ノ性質ヲ同ジウスル帝國鐵道會計及通信事業特別會計ガ、作業會計ト其ノ取扱ヲ異ニシテ居ルノハ適當デアルカドウカ、又減價償却ニ付テハ、毎年本委員會ニ於テ同ジヤウナコトガ問題トナリ、同ジヤウナ問答ガ繰返サレテ居ルノデアルガ、國有財產全般ニ互ッテ減價償却ニ關スル取扱ヲ、政府全體トシテハキリト決メラレタラドウデアラウカト云フコトニ付テ相當論議ヲ重ネタノデアリマス、政府ヨリハ、現在減價償却ヲ行ッテ居ルノハ作業會計及造幣局特別會計ダケデアッテ、一般會計並ニ右

以外ノ特別會計ハ減價償却ヲ行ツテ居ナイ、又之ニ付テハソレノ相當ノ理由ガアルケレドモ、作業會計以外ノ會計ニ於テモ減價償却ヲ行フト云フコトハ望マシイコトデアル、唯時局下ノ今日ニ於テ、經費、人員等ノ關係上直チニ之ヲ實行スルト云フコトハ困難デアルガ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ之ヲ實行スルヤウ手配ヲ致シタイトノ答辯ガゴザイマシタ、次イデ會計檢査院ノ批難事項ニ付テ審査致シマシタ結果、政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スベキモノト議決セラレマシタモノガ二件ゴザイマス、其ノ一ハ、鐵道省所管ニ於テ土地ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ザルモノデアリマス、其ノ二ハ、拓務省所管臺灣總督府ニ於テ官有地ノ貸付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ザルモノデアリマス、其ノ他ハ異議ナシト議決セラレマシタ、尙詳シイコトハ速記録ニ依ッテ御承知ヲ願フコトニ致シマス、是ニテ報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ採決ヲ致シマス、二件トモ決算委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ本日ノ日程ヲ全部議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時四十七分散會